

世界中で愛されるブランド

baby lock

チェーン/カバーステッチ
オーバーロックミシン

Instruction Manual



ご使用のてびき

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。



株式会社 **ジューキ**

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。

このミシンは、日本国内向け・家庭用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告

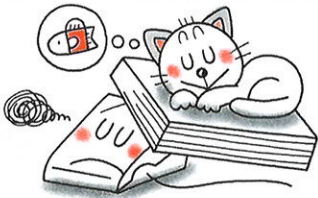
感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



⚠ 注意

感電、火災、ケガの原因となります。



- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。



- ◆お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し十分に注意を払ってください。



- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・高い場所 ・お子様の手の届く場所 ・湿気の多い場所
 ※ミシンの使用温度は0℃～40℃です。



- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。



- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・メスの交換をするとき
 - ・針糸やルーパー糸をセットするとき
 - ・針板を交換するとき
 - ・押え金を交換するとき
 - ・ランプの交換をするとき
 - ・針を交換するとき
 ※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類（メスカバー等）はすべて閉じてください。

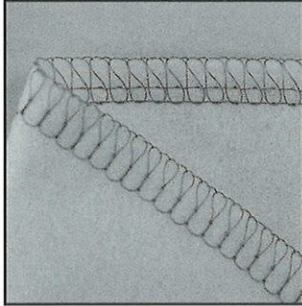
目次

安全にご使用いただくために	1
目次	2
基本縫い一覧	3
1. ご使用になる前に	4
2. 各部の名称	5
3. 縫うための準備	6
アンテナのセット、コントローラーのセット、糸のセット	
4. 試し縫い	7
縫い始め、縫い終わり	
5. 縫い目調節とメスの固定	9
かがり幅の調節、送り目の調節、メスの固定、押え圧力の調節	
6. あこ〜でおん（差動）	11
7. 糸のかけ方	
(1) ルーパー糸	
チェーンルーパー糸、下ルーパー糸、上ルーパー糸をかける前に	12
（エアスルーシステムの準備、ルーパー糸をかけ終わったら）	
チェーンルーパー糸	13
下ルーパー糸	14
上ルーパー糸	15
太い糸のかけ方	16
(2) 針糸	
右針糸	17
左針糸	18
チェーン針糸	19
8. 縫い方	
(1) オーバーロック	
2本針4本糸ロック	20
1本針3本糸ロック	21
巻きロック（標準巻きロック、変形巻きロック）	22
(2) チェーン（二重環縫い）／カバーステッチ	
チェーンステッチ／カバーステッチを縫う前に	23
チェーンステッチ	25
カバーステッチ	27
トリプルカバーステッチ	29
(3) 5本糸インターロック（合わせかがり）	31
(4) 実用縫い	33
9. メンテナンス	34
針の交換、ルーパーズレッダーの使い方、メスの交換、掃除	
修理を依頼される前に	36
仕様	37

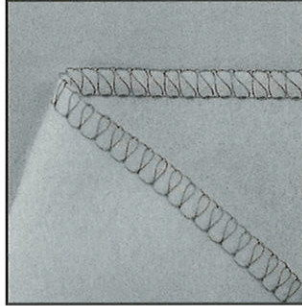
基本縫い一覧

このミシンでは下記の縫い方を基本としたソーイングをお楽しみいただけます。

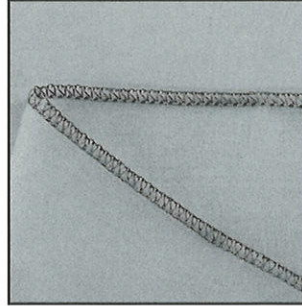
オーバーロック



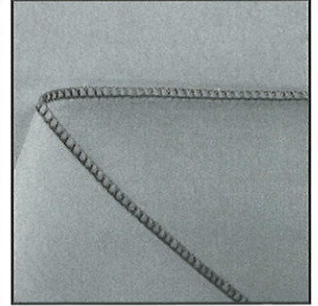
2本針4本糸普通ロック



1本針3本糸普通ロック

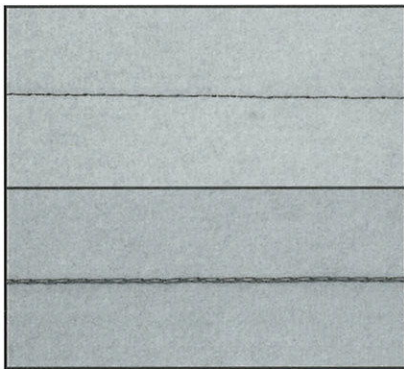


標準巻きロック

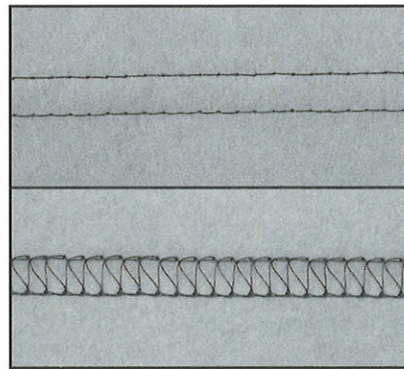


変形巻きロック

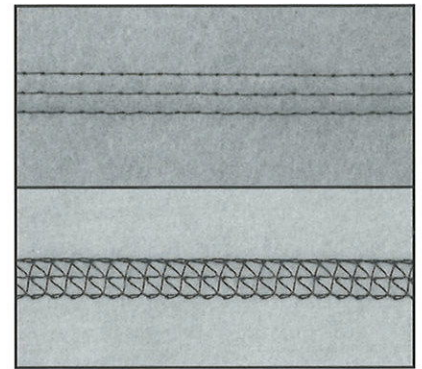
チェーンステッチ/カバーステッチ



チェーンステッチ

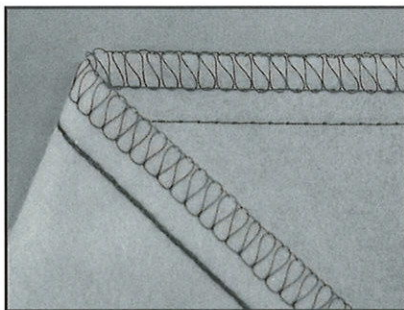


2本針カバーステッチ



3本針カバーステッチ

インターロック (合わせかがり)



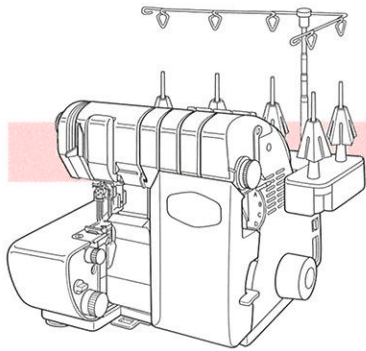
5本糸インターロック
(1本針3本糸オーバーロック
+チェーンステッチ)



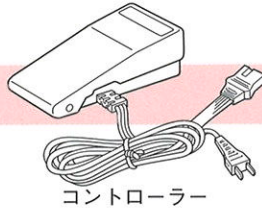


ご使用になる前に

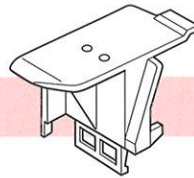
下記のものが入っていることを必ずご確認ください。



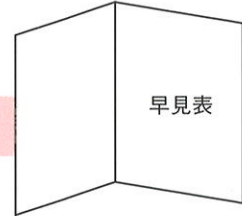
ミシン本体



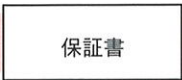
コントローラー



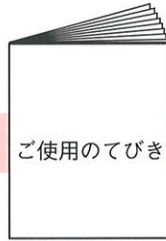
チェーン/カバー用
テーブル【P23参照】



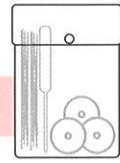
早見表



保証書



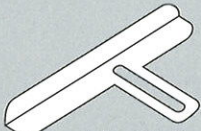
ご使用のてびき



アクセサリ
ケース



ルーバースレッダー【P35参照】



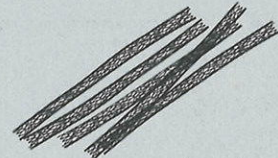
生地ガイド
【P33参照】



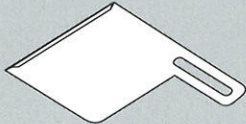
ミシンカバー



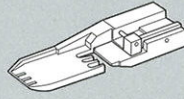
ドライバー



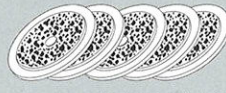
ベビーネット(5つ)
【P6参照】



裾引きガイド
【P33参照】



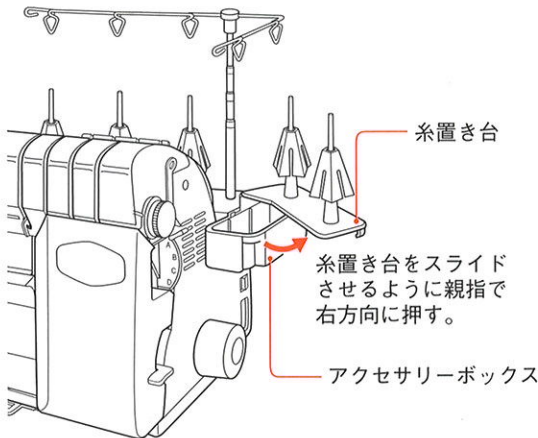
チェーン/カバー用押え
【P23参照】



スポンジ付駒受け(5個)
【P6参照】



駒受け(5個)
【P6参照】



糸置き台

糸置き台をスライド
させるように親指で
右方向に押す。

アクセサリボックス



針留めネジ
オーバーロック用2個
カバー/チェーン用2個



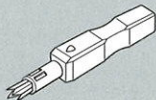
チェーン/カバー用テーブルの
アタッチメント固定ネジ



ピンセット



掃除用ブラシ
(針交換用具兼用)



針糸通し具
【P17~19参照】



六角レンチ
・ドライバー



針(シュメツELX705
#14/90)【P34参照】



上メス
【P35参照】

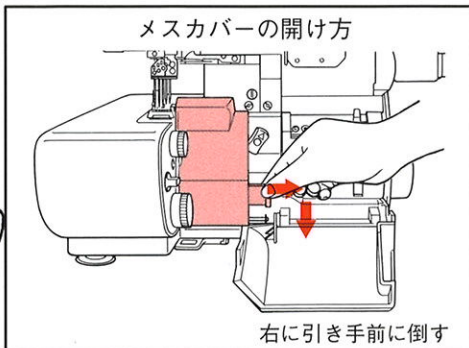
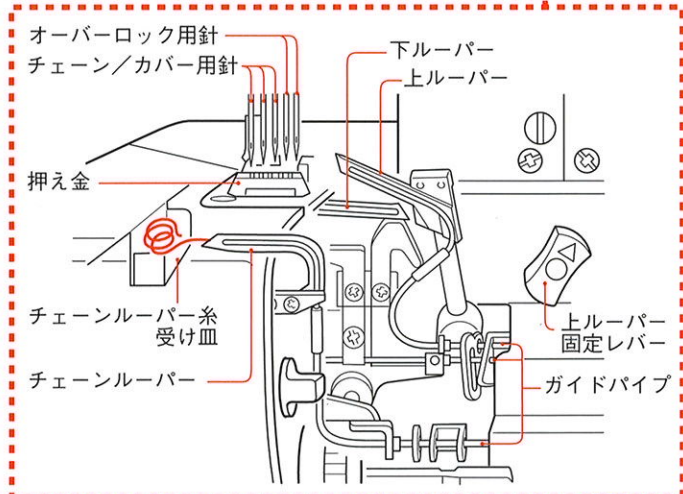
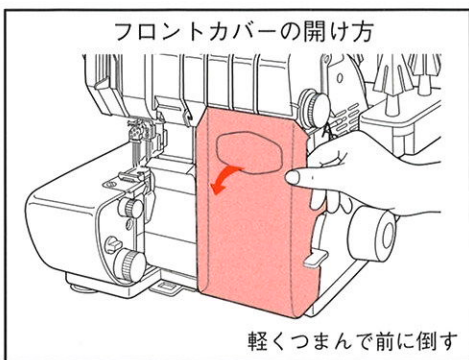
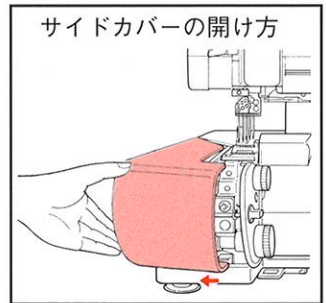
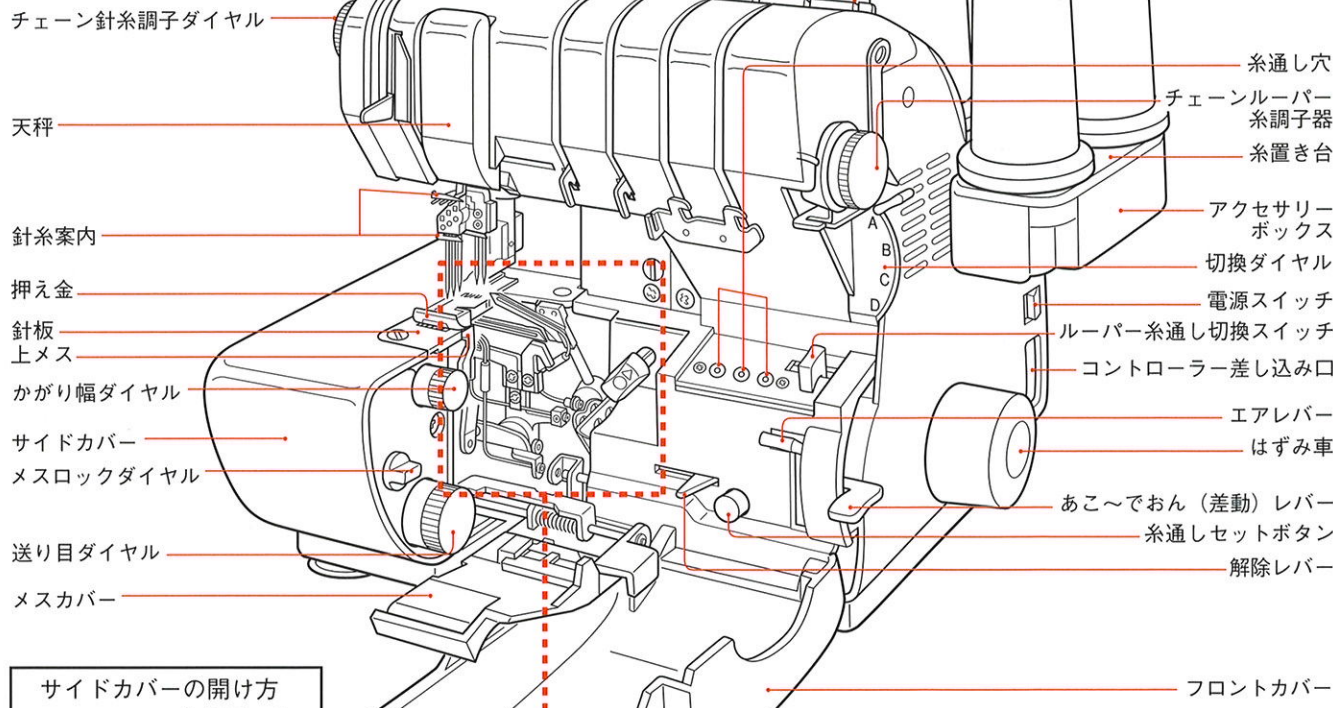
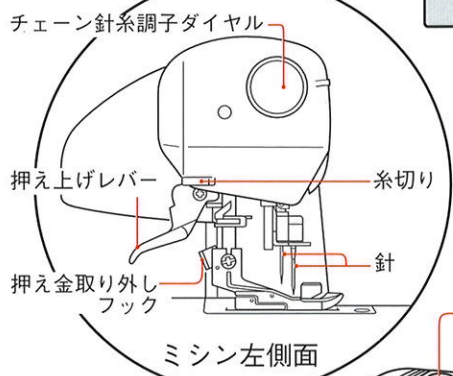
ご使用になる前に

2

各部の名称

セーフティストップ機構 (安全装置) に付いて

このミシンには、誤作動を防止するために「安全装置」が装備され、下記の時はコントローラーを踏んでもミシンが動かないようになっています。
 ・サイドカバーが開いている時
 ・押え金が上がっている時
 カバーを閉め、押え金が下がっていることを確認してからお使いください。



3

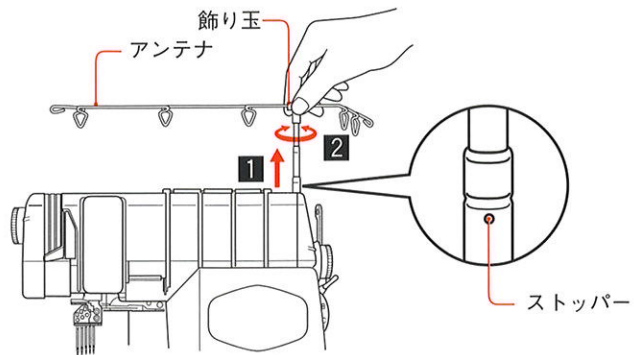
縫うための準備

アンテナのセット

- 1** 飾り玉を持って真上へいっぱい引き伸ばす。

このとき糸がアンテナやその他の部分に絡まっていないことを確認。

- 2** アンテナを左右に振ってストッパーを固定する。



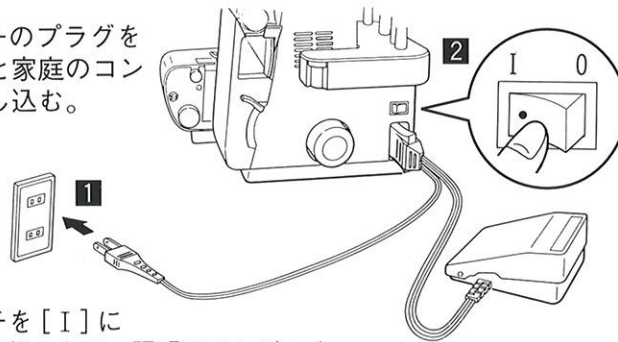
コントローラーのセット



注意
火事の原因になります。

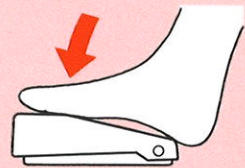
◆プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
◆コントローラーの上に物を乗せない。

- 1** コントローラーのプラグをミシン本体と家庭のコンセントに差し込む。



- 2** 電源スイッチを[I]にすると通電状態となり、照明ライトがつく。

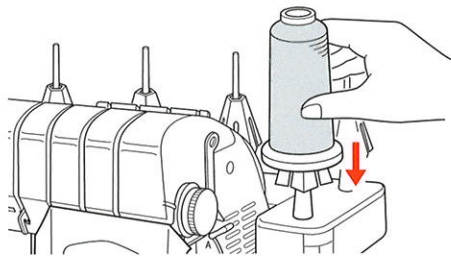
スピードの調節



強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

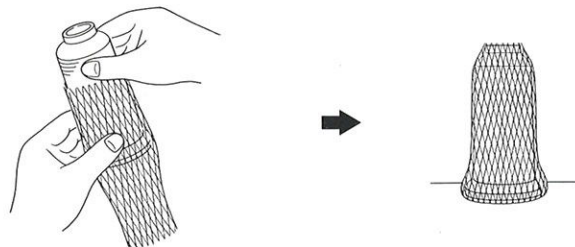
糸のセット

テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など市販されているほとんどの糸を使用することができます。



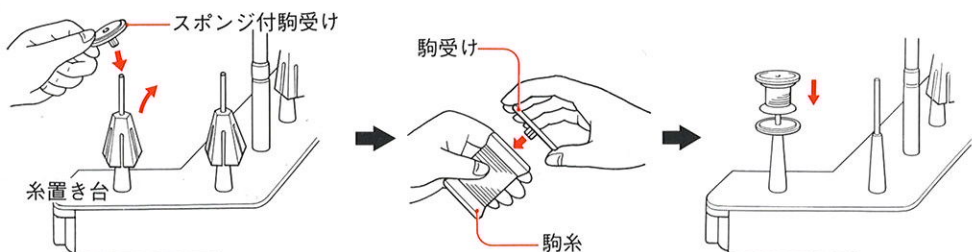
■ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



■駒受けの使い方

普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」と「スポンジ付駒受け」をご使用ください。



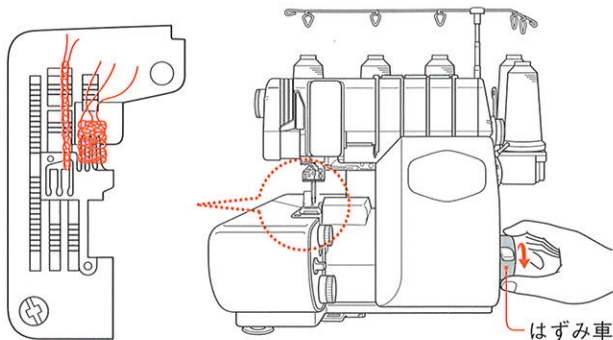
縫い始め

注意 ケガをする恐れがあります。針・ルーバー・メスの動く範囲に指や手を持っていかないでください。

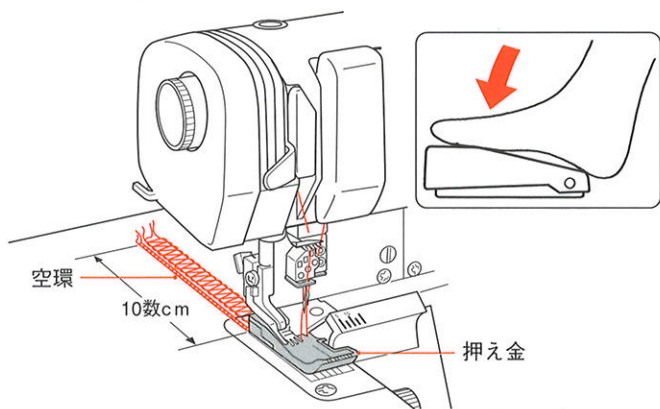
工場出荷時は5本糸インターロック (P31) になっています。

【オーバーロック/インターロック】

- 1 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認する。

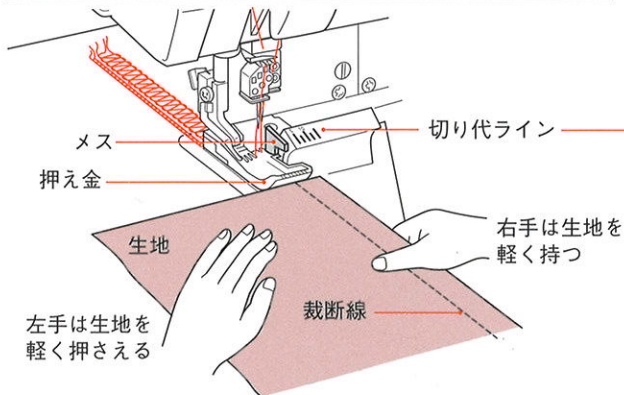


- 2 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておく。



- 3 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

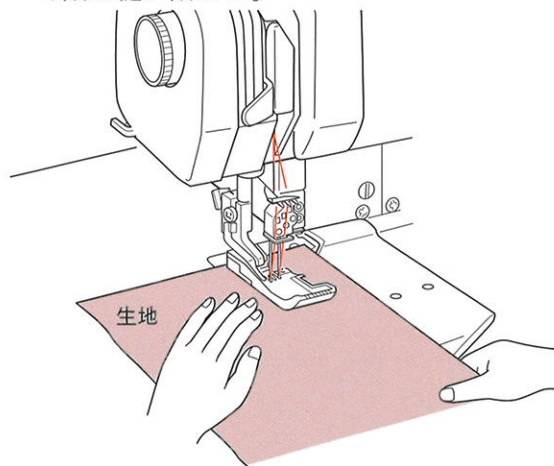
このとき押え金を上げる必要はありません。縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。



- 4 コントローラーを踏んで縫い始める。

【チェーン/カバーステッチ】

- 1 押え金を上げ、針落ち位置まで生地を入れる
- 2 押え金を下げ、「はずみ車」を手前方向に手で数回まわしてからコントローラーを軽く踏み縫い始める。

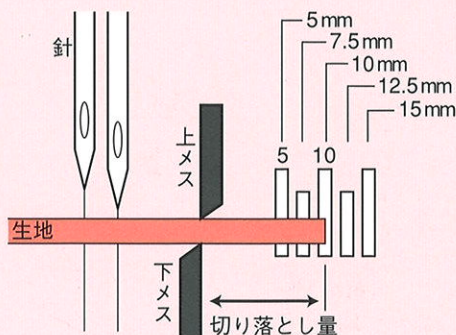


※厚物等生地によっては、まず3~4cm四方の捨て布を針落ち位置まで入れ縫ってから、続けて生地を入れ縫い始めると、縫い始めの縫い目が安定します。

チェーン/カバーステッチで縫う場合は、送り目を「4」にした時だけ空環が出ます。縫い始めは、送り目を「4」にして空環を出してから生地を入れ、生地を入れたら送り目を好みの数値にするという方法もあります。

切り代ラインの使い方

切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。生地端を5の線に合わせて約5mm切り落とし、10の線に合わせて約10mm切り落とします。

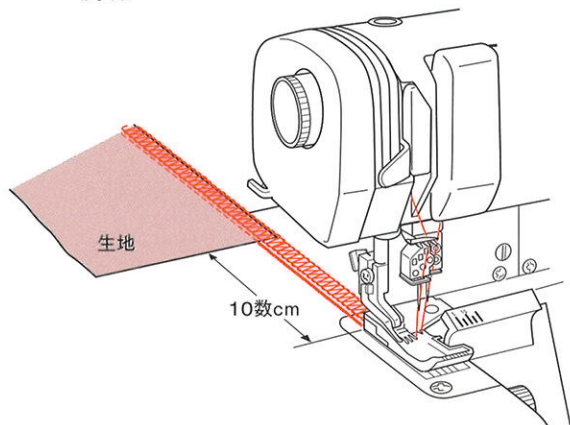


切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合は試し切りを行い、確認してから縫い始めてください。

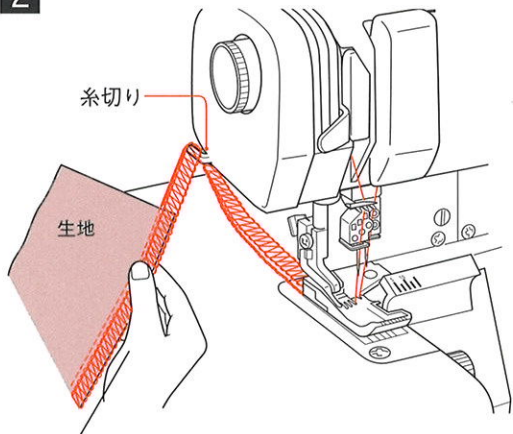
縫い終わり

【オーバーロック/インターロック】

- 1 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、「空環」を約10数cm出しておく。
からかん

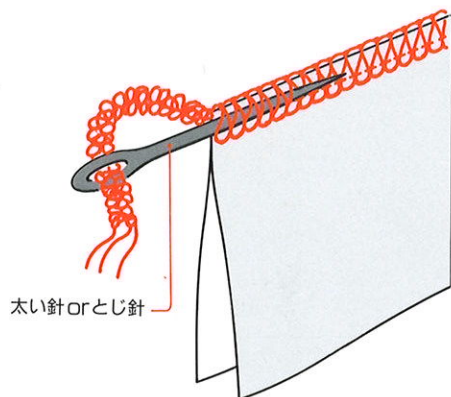


- 2 最後に「糸切り」で「空環」を切る。



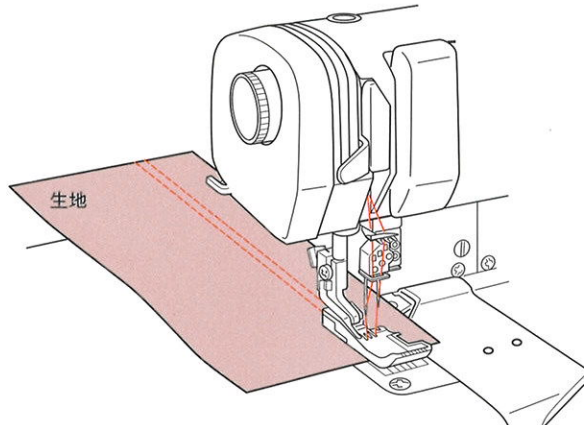
からかん 「空環」の始末

縫い終わった後、「空環」はとじ針で裏の縫い目に通しておきます。

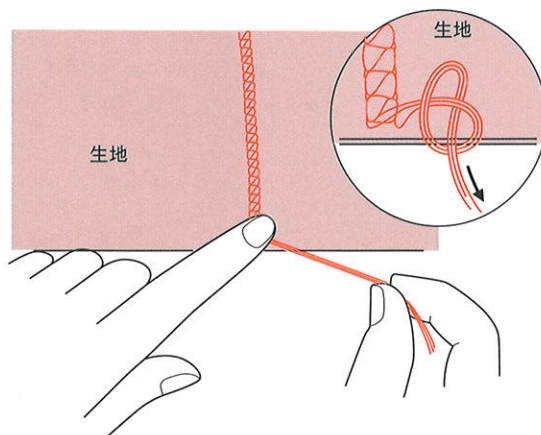


【チェーン/カバーステッチ】

- 1 生地の手前で縫い終わったら、押え金を上げ、注意しながら布を引き出し、糸を切る。

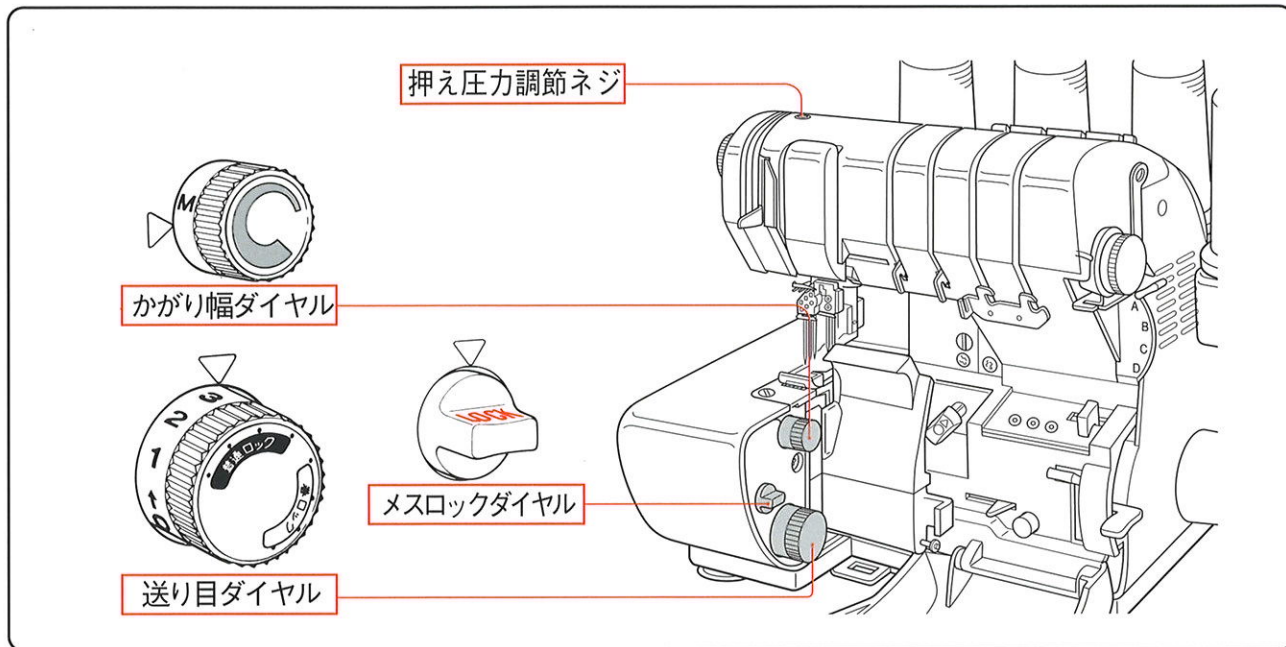


- 2 表に出ている糸をピンセット等で裏側に引っ張り出し、すべての糸をまとめて結ぶ。

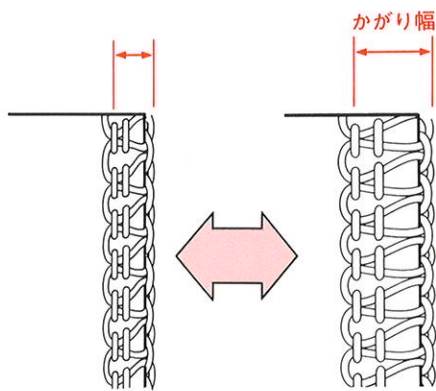


チェーン/カバーステッチで縫う場合は、送り目を「4」にした時だけ空環が出ます。縫い終わりは、送り目を「4」にしてから空環を出しておくという方法もあります。

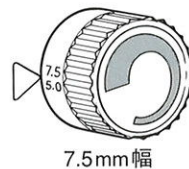
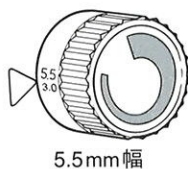




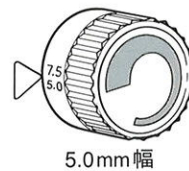
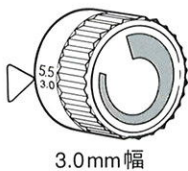
かがり幅の調節 (オーバーロックのみ)



4本糸および左針を使用した時の3本糸の縁かがり
(上段の大きい数値で合わせます)

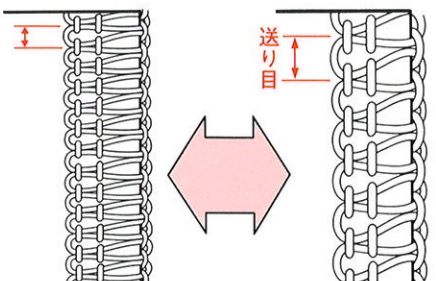


右針を使用した時の3本糸の縁かがり
(下段の小さい数値で合わせます)



送り目の調節

1～4mmの範囲で調節します。



- 普通ロック (オーバーロック)
- チェーンステッチ
- カバーステッチ
- インターロック

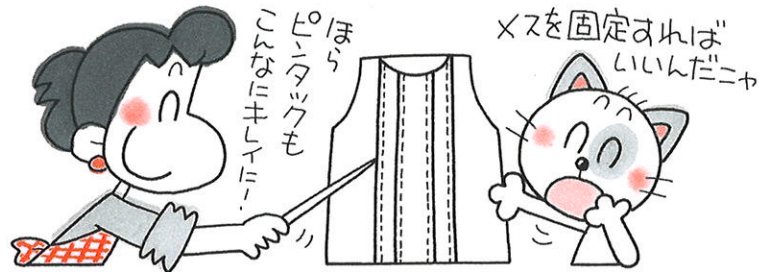
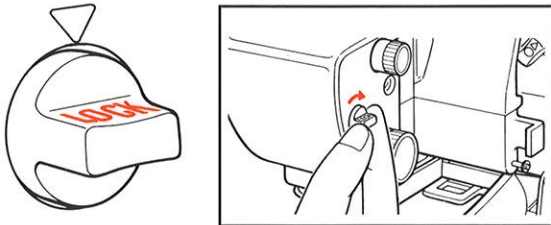


- 巻きロック (オーバーロック)



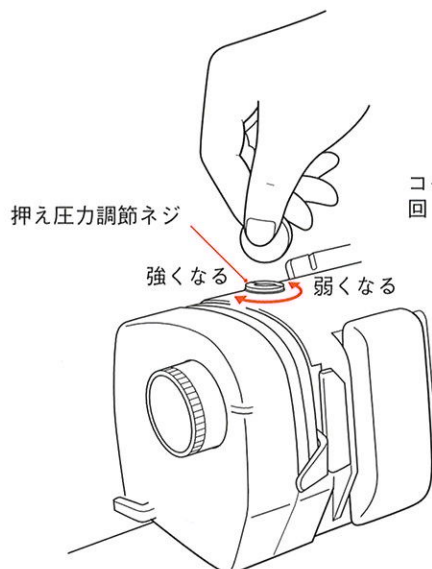
メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メスロックダイヤルを【LOCK】にしてください。メスが固定されて動かなくなります。



押え圧力の調節

滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調節したほうが縫いやすい場合があります。



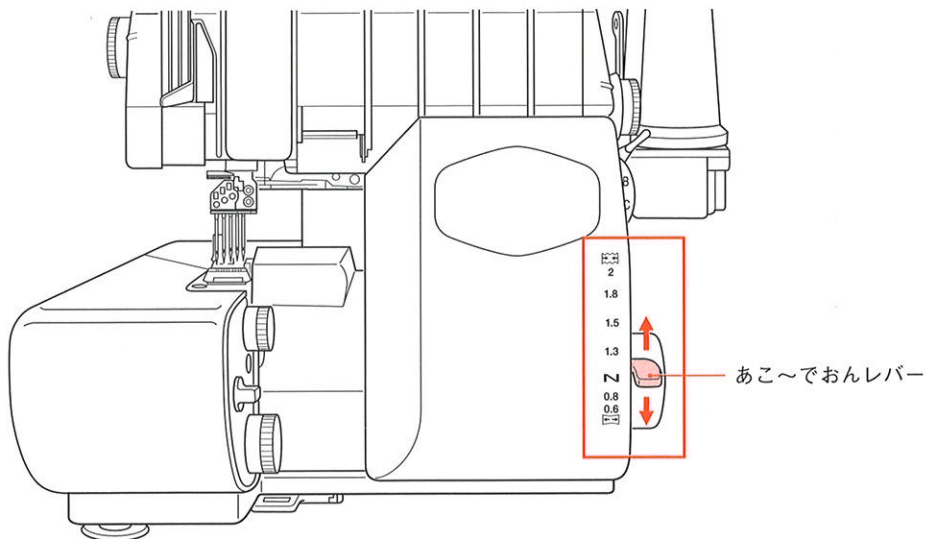
コインなどで「押え圧力調節ネジ」を回して調節してください。


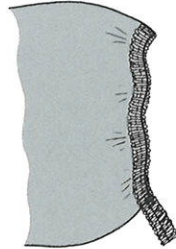
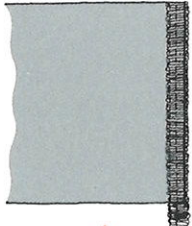
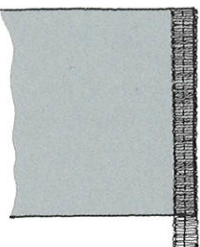



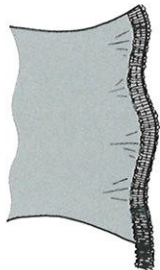
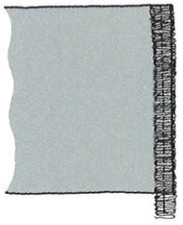
このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合わせて調節されていますので、普段はあまり調節する必要はありません。



あこ〜でおん(差動)

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「あこ〜でおんレバー」を使うと、平にきれいに仕上げることができます。さらにギャザーを寄せたり、フレアスカートのヘムのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。



 2 1.8 1.5 1.3 ↑	縮み縫い	袖山のギャザー寄せ フレアスカートのヘムのいせ込みなど 	ニット地 バイヤス部分など 	
N ↓	通常縫い		↑ 伸びてしまう生地 	↓ 縮んでしまう生地 
0.8 0.6 ↓ 	伸ばし縫い	 スカートの裾やブラウスの衿のフリルなど		↓ 裏地の縁かがり 薄地の巻きロックなど 



糸のかけ方

(1) ルーパー糸

チェーンルーパー糸(p13)、下ルーパー糸(p14)、上ルーパー糸(p15) をかける前に

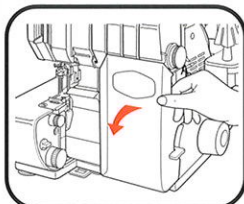
ルーパーの糸かけをするときはエアスルーシステム（自動エア糸通し）を使います。
エアスルーシステムは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。
また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

エアスルーシステムの準備

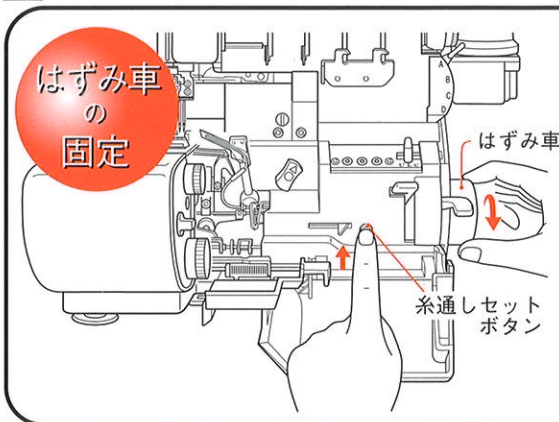
- 1** 押え上げレバーで
押え金を上げる。



- 2** フロントカバー
とメスカバーを
開ける。



- 3** 糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまで、はずみ車を回す。

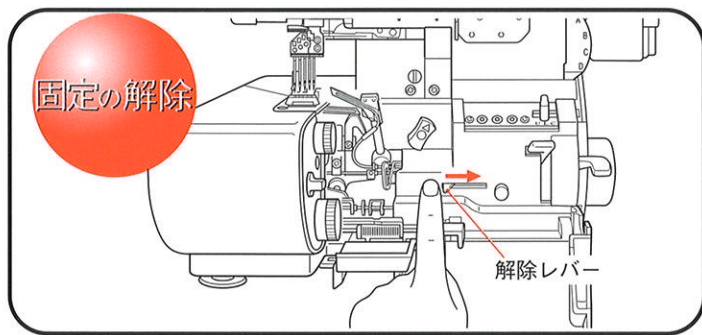


セットが完了すると、
はずみ車が回らなくな
り、解除レバーが
左へ自動的に移動し
ます。
移動しない場合は、
もう一度糸通しセット
ボタンをもっと強く
押しながらはずみ車
を回してください。

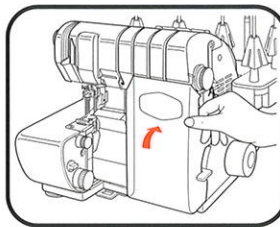
P13～P15 にしたがって糸をかける

ルーパー糸をかけ終わったら

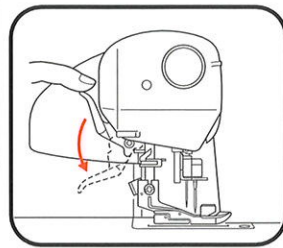
- 1** 解除レバーを右にスライドさせる。



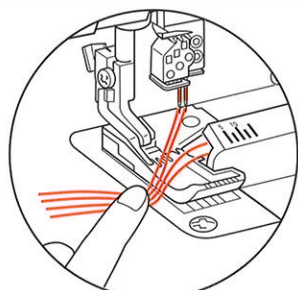
- 2** メスカバー、
フロントカバー
を閉める。



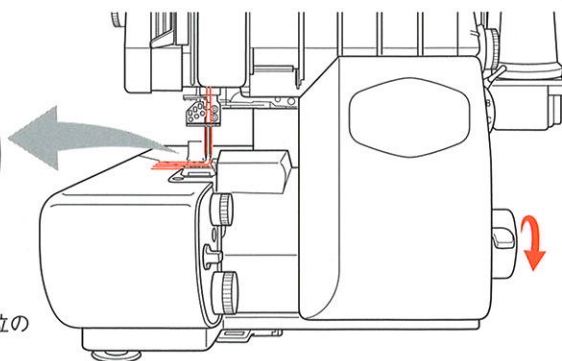
- 3** 押え上げレバーで
押え金を下げる。



オーバーロックで縫う場合
は、針糸を含めすべての糸
をかけ終わったら、最後に
糸を軽く押え、はずみ車を
数回まわして、空環がうま
くできるか確認する。



通した糸はそれぞれ10cm位
のところで切りそろえる



糸のかけ方

(1) ルーパー糸

チェーン ルーパー糸



注意

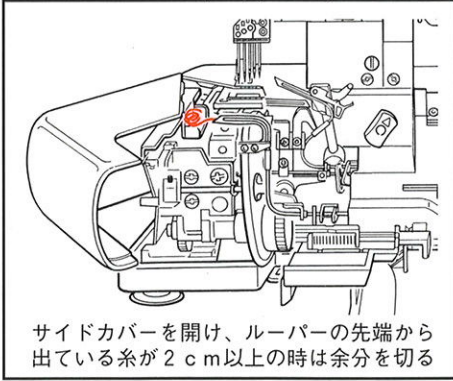
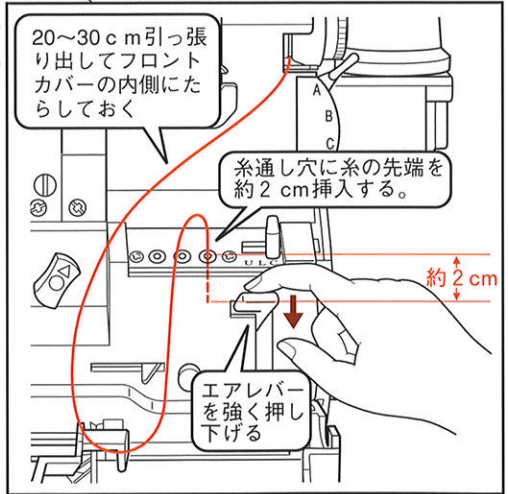
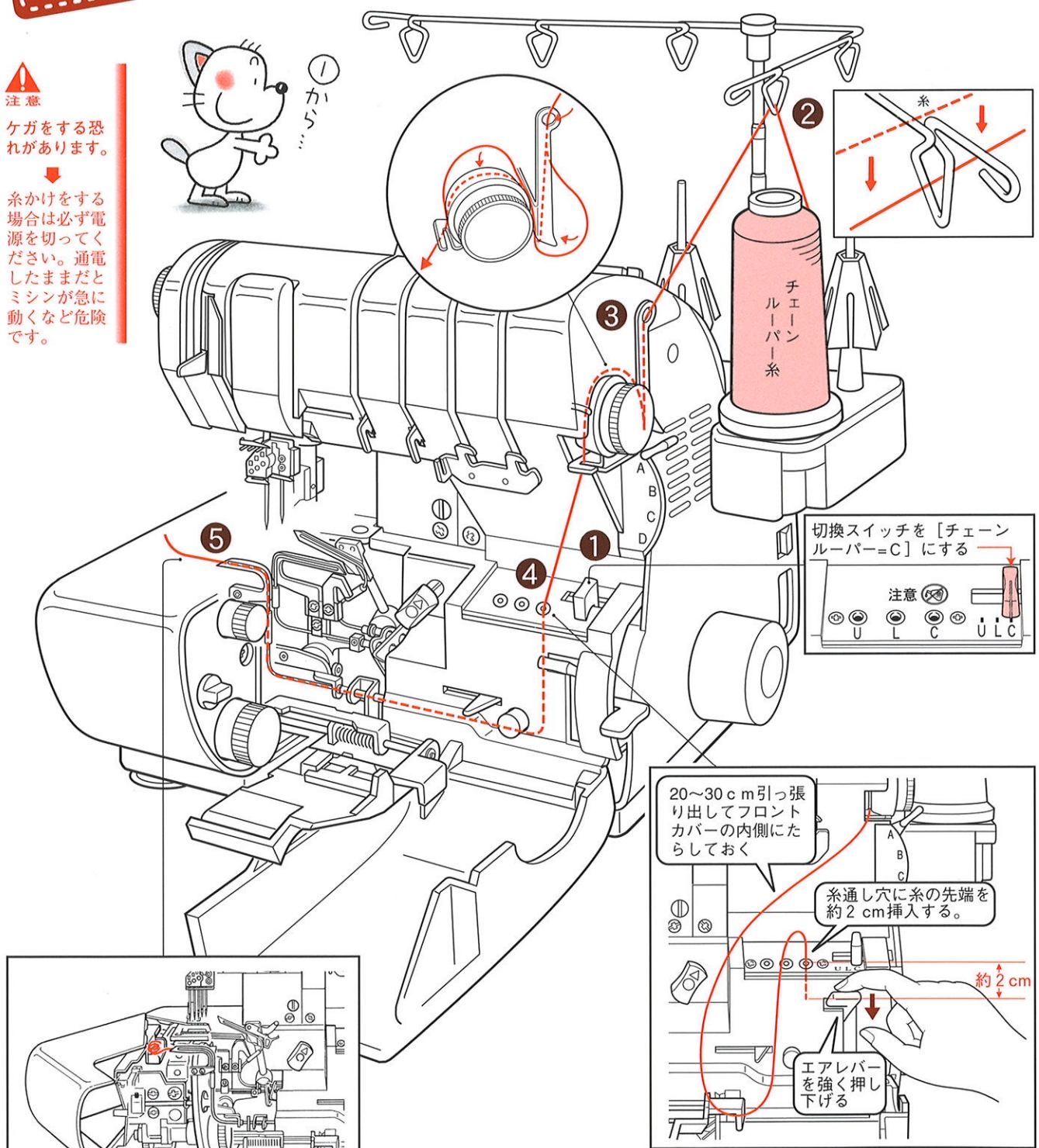
ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



1 「エアスルーシステムの準備」(P12)を行う。**重要**

2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。



ワンポイント

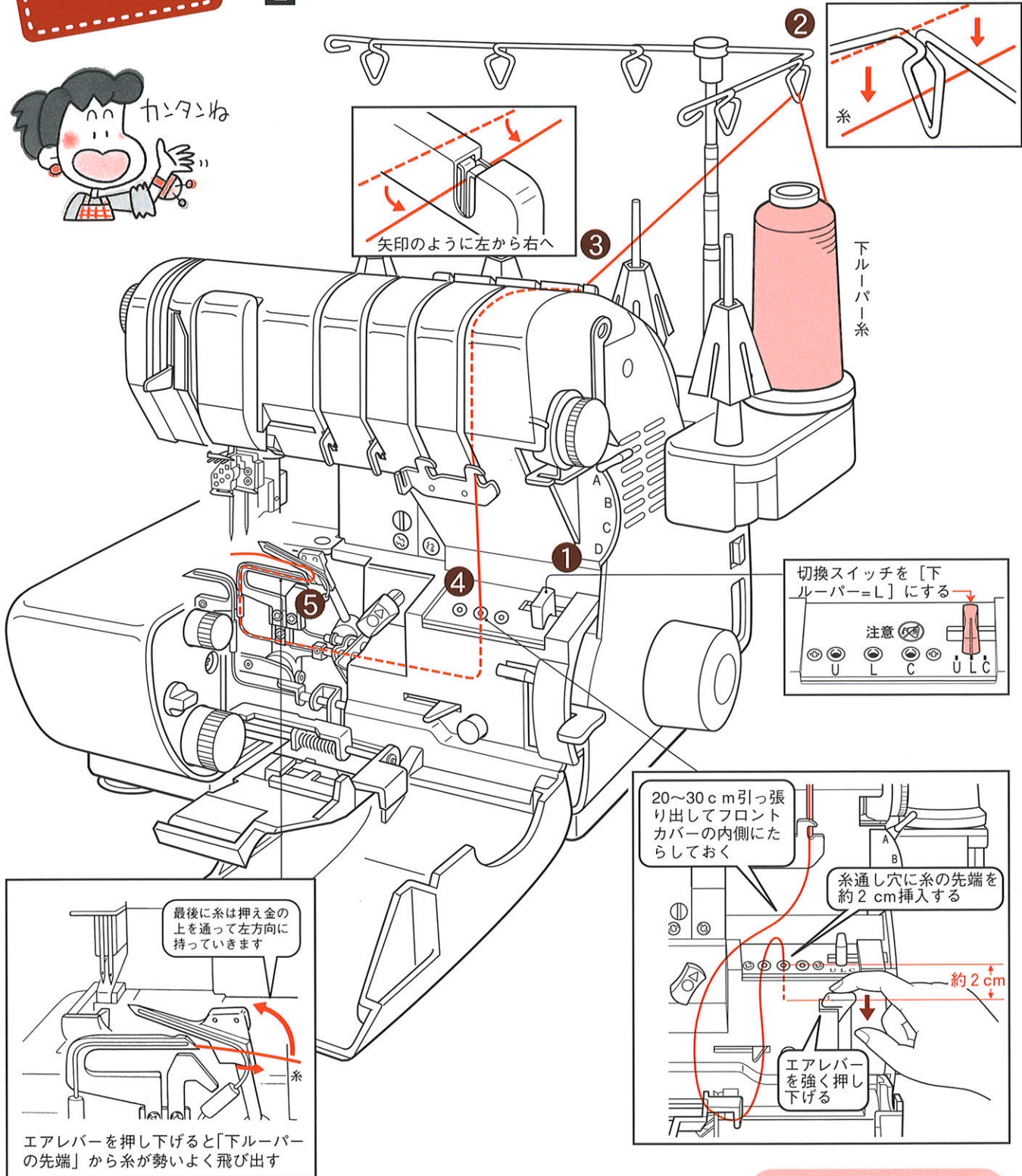
糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

3 「固定の解除」(P12)をしてから縫い始める。**重要**

下ルーパー糸



- 1 「エアスルーシステムの準備」(P12)を行う。**重要**
- 2 下記の番号にしたがって糸をかけていく。



ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

- 3 「固定の解除」(P12)をしてから縫い始める。**重要**

糸のかけ方 下ルーパー糸

糸のかけ方

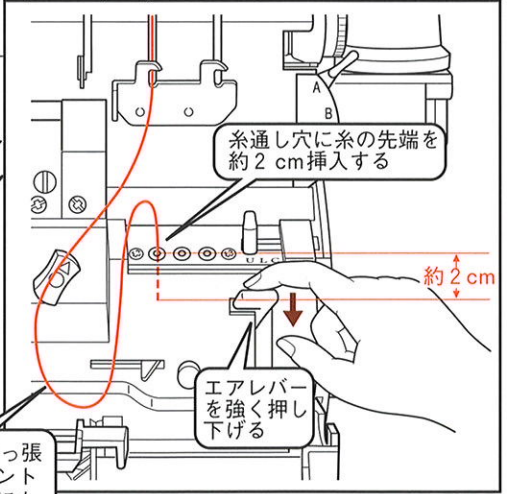
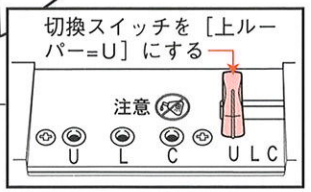
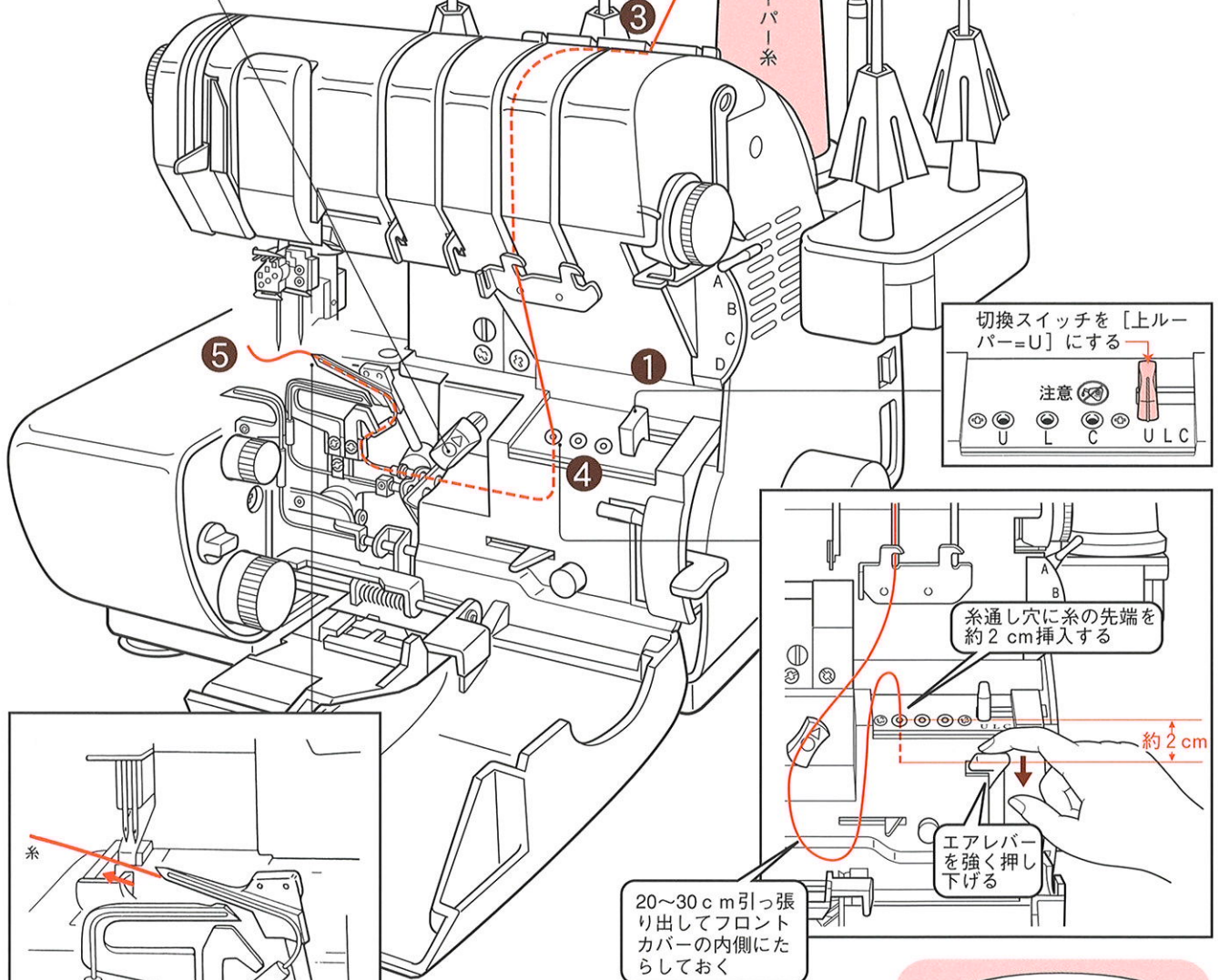
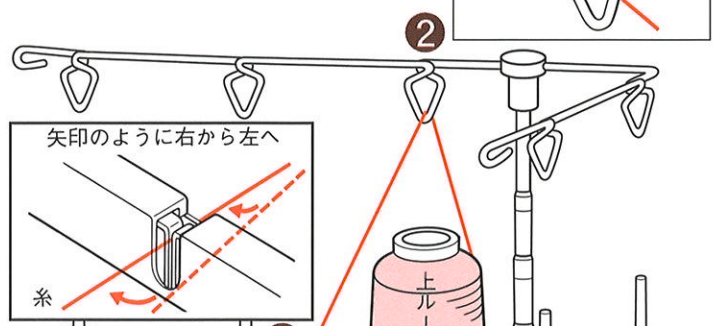
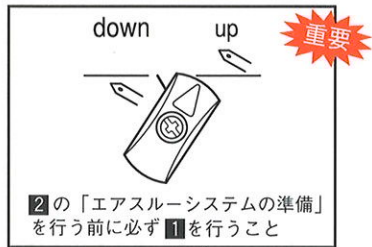
(1) ルーパー糸



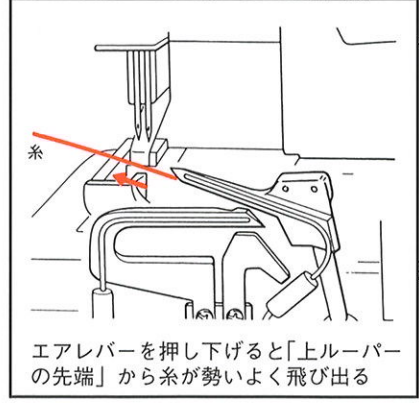
- 2 「エアスルーシステムの準備」(P12)を行う。**重要**
- 3 下記の番号にしたがって糸をかけていく。



- 1 上ルーパー固定レバーを **up** (使用) にする。



20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらししておく



- 4 「固定の解除」(P12)をしてから縫い始める。**重要**

ワンポイント

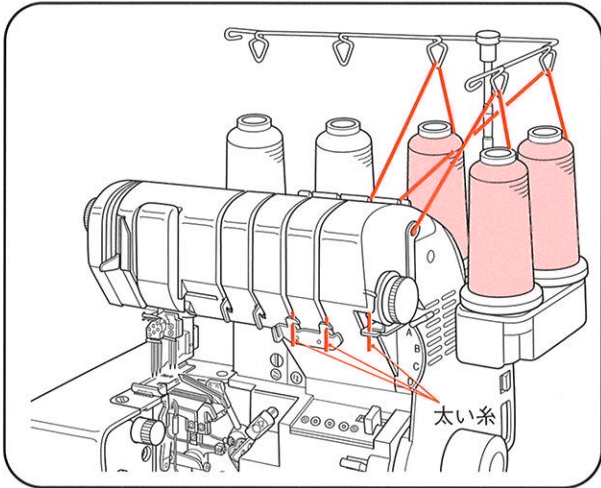
糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

太い糸のかけ方

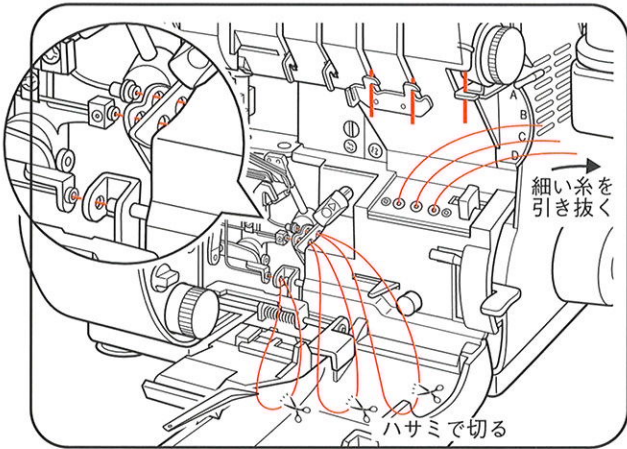
ルーパー糸（チェーンルーパー、下ルーパー、上ルーパー）に、飾り糸として使われるような太い糸を使用したい場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）に入らない場合があります。そのような時は下記のようにすれば使用できます。

1 「エアスルーシステムの準備」(P12) を行う。**重要**

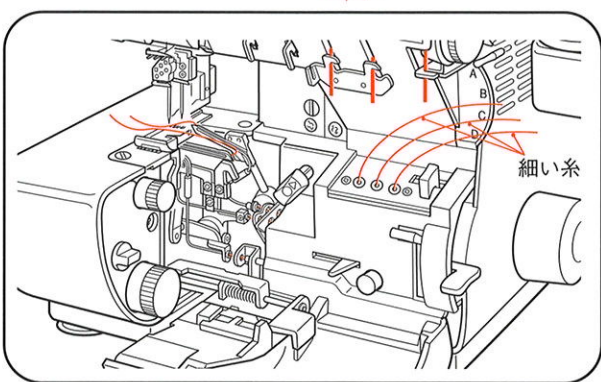
2 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。
(P13、14、15 の **2** **3** 参照)



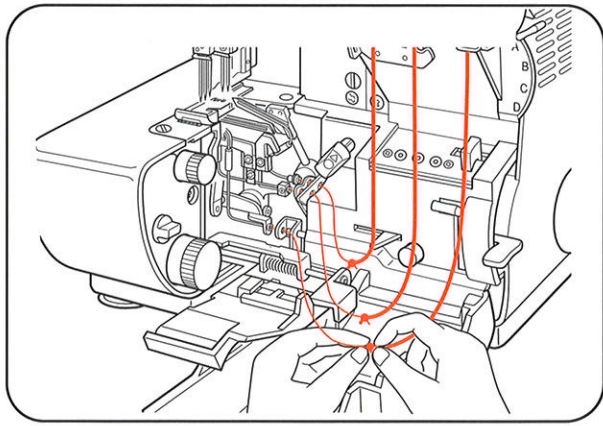
4 ピンセットで糸を引き出して切る。



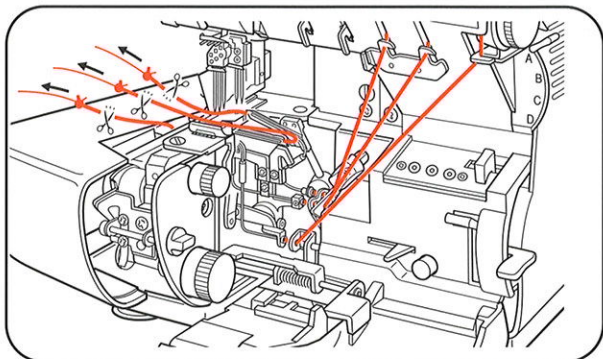
3 エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと (P13、14、15 の **1** **4** **5** 参照)、「固定の解除」を行う。(P12 参照) **重要**



5 太い糸と細い糸を結ぶ。



6 結び目を引き出して切る。

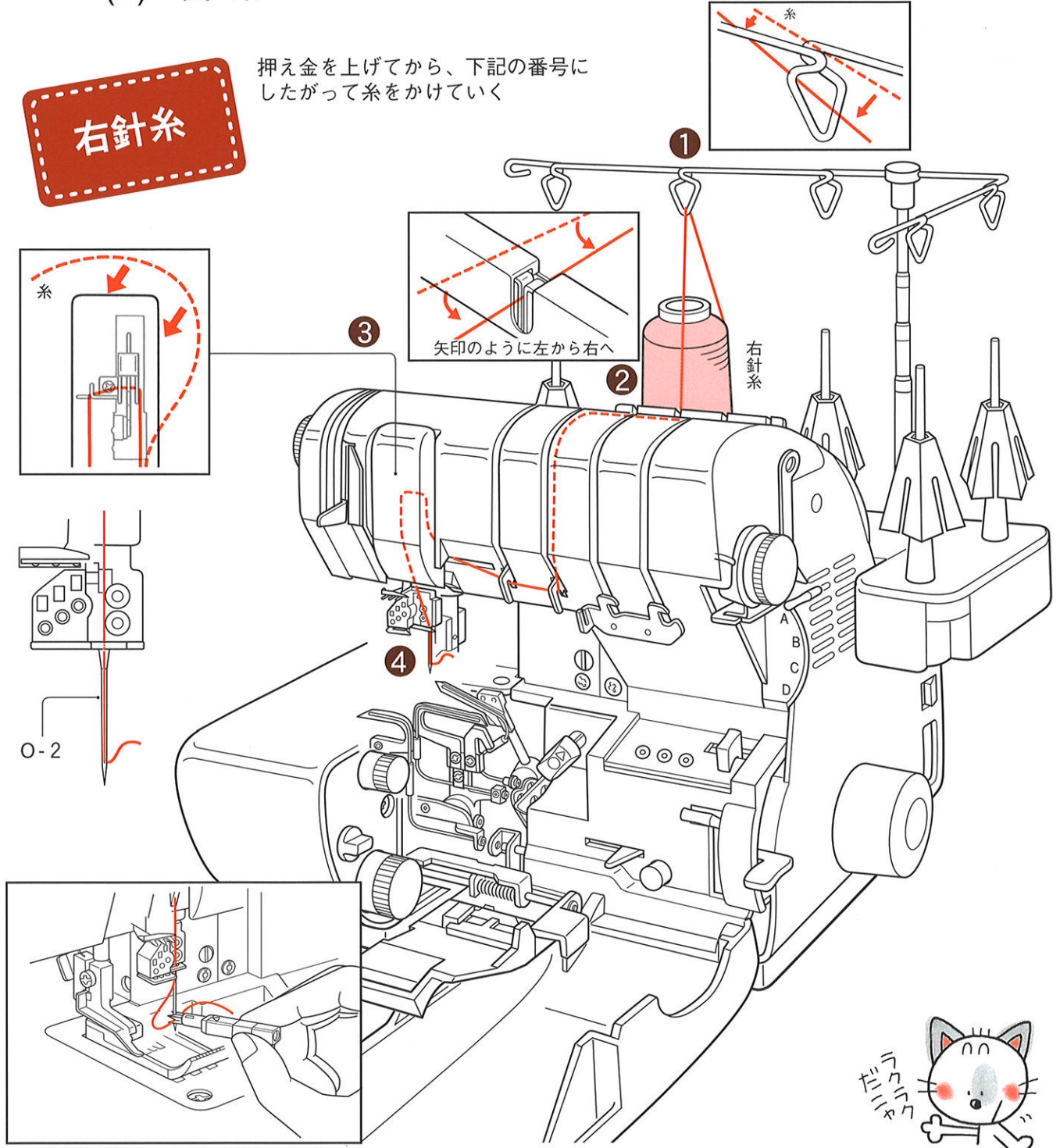


糸のかけ方

(2) 針糸

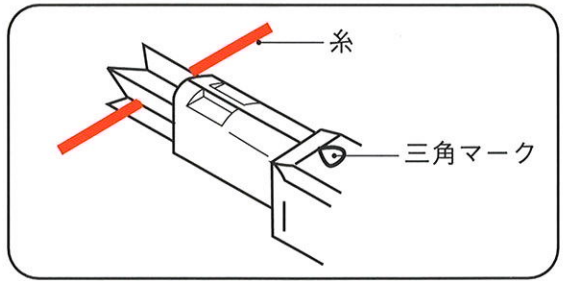
右針糸

押え金を上げてから、下記の番号にしたがって糸をかけていく

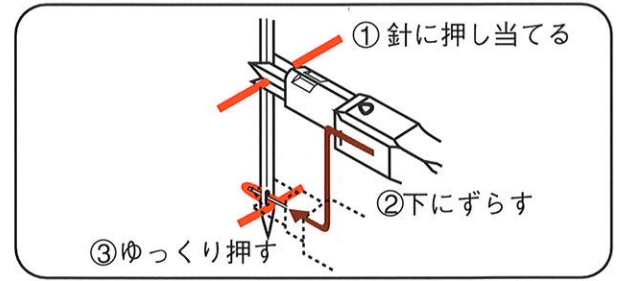


針糸通し具の使い方 付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

1 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



2 そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す

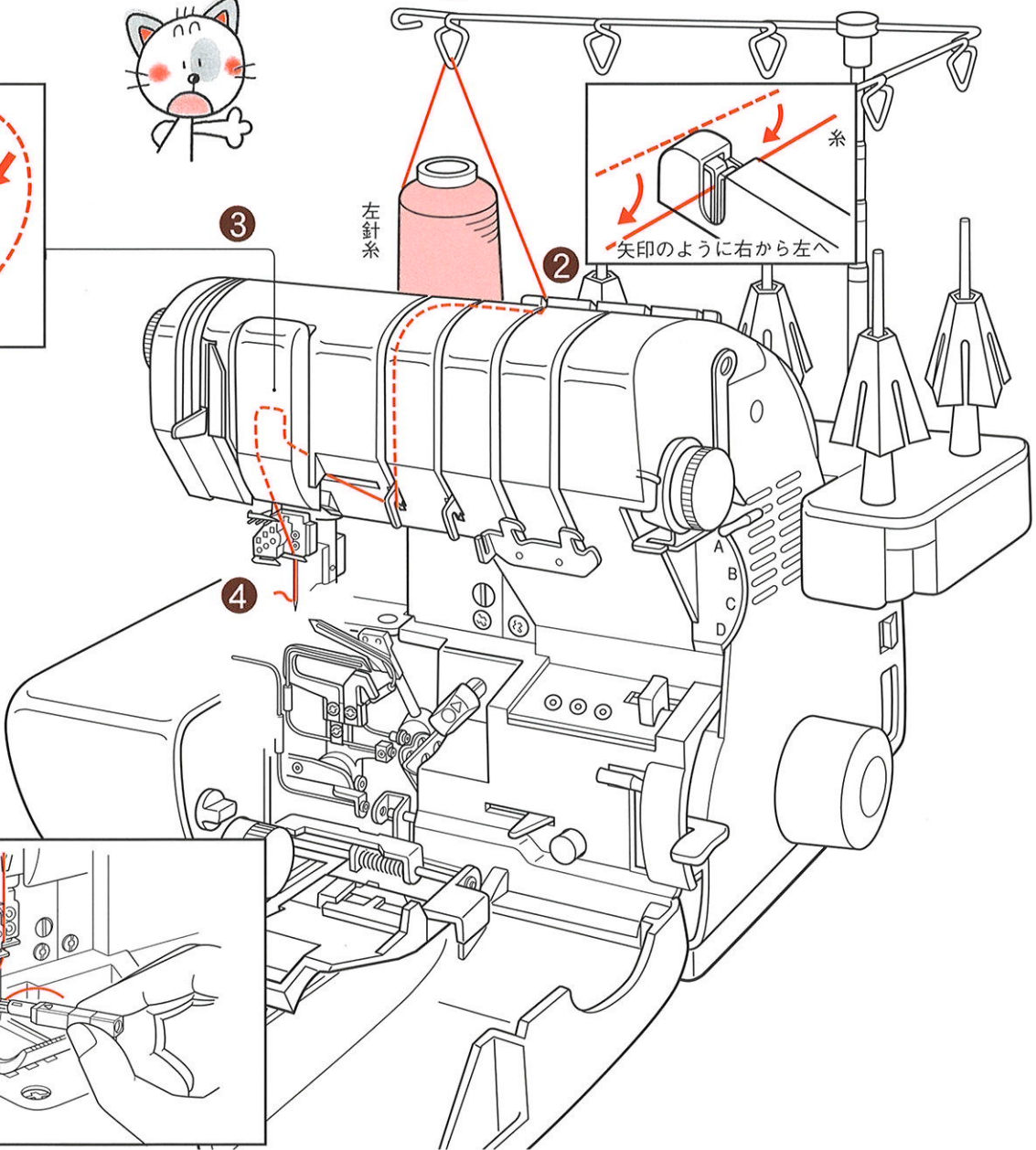
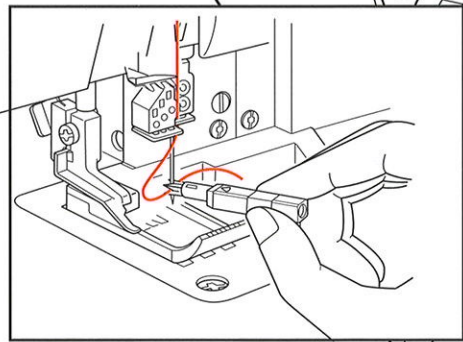
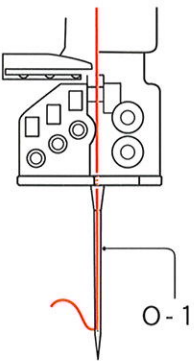
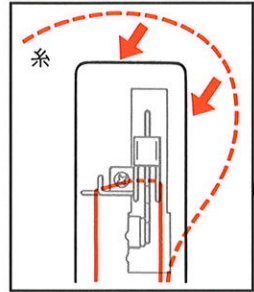
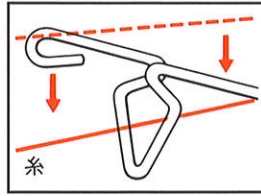


糸のかけ方
右針糸

左針糸

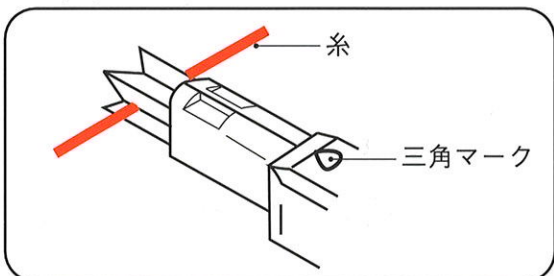
押え金を上げてから、下記の番号にしたがって糸をかけていく

左から...

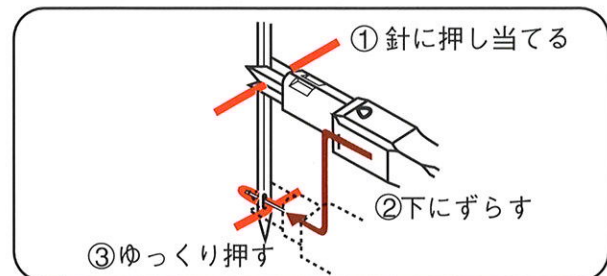


針糸通し具の使い方 付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

1 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



2 そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す



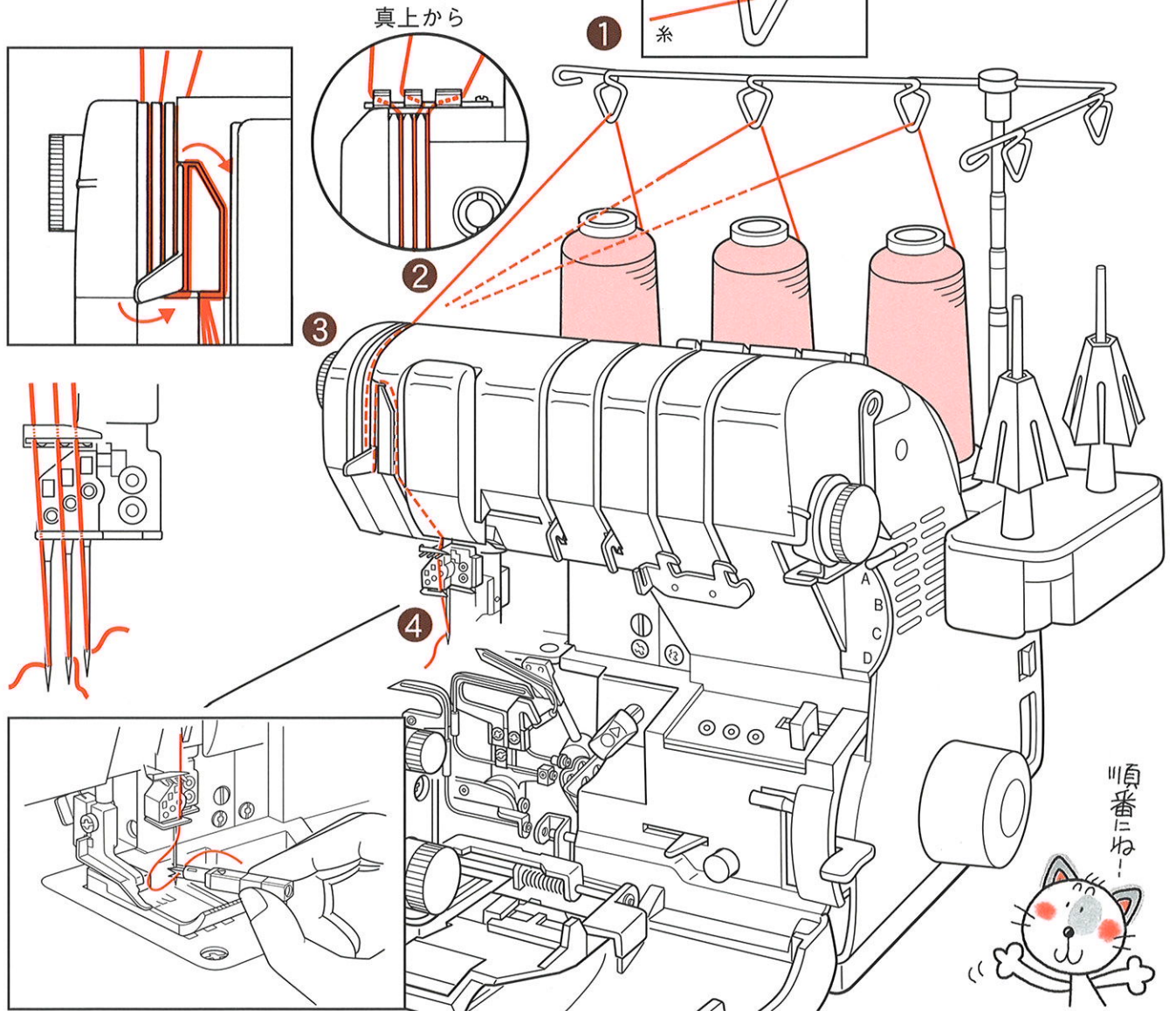
糸のかけ方

(2) 針糸



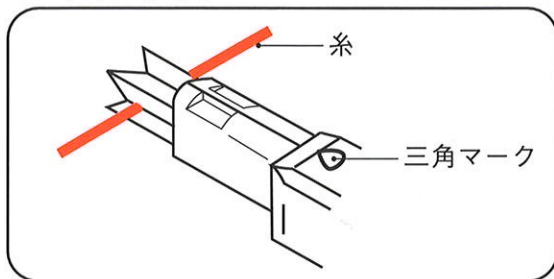
チェーン針糸は左針 (C-1)、中央針 (C-2)、右針 (C-3) の3本の針があります。糸を置く場所は針を3本同時に使うときは左から順に3本の糸置き台に2本の組み合わせで使うときは左から2本の糸置き台にどの針でも1本だけ使うときはいちばん左の糸置き台に糸を置きます。

押え金を上げてから、下記の番号にしたがって糸をかけていく

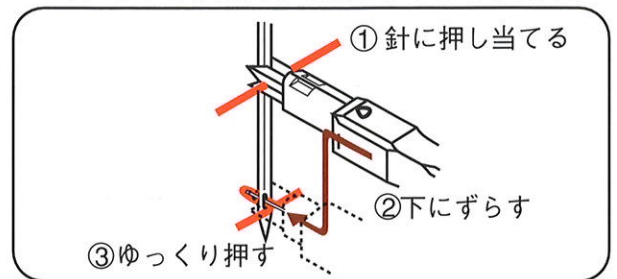


針糸通し具の使い方 付属の針糸通し具を使うと、針穴に糸を簡単に通すことができます。

1 糸通し具の三角のマークを上にして、糸を水平にはさむ



2 そのまま針の上部に糸通し具の先端を押し当て下にずらし、針穴まで来たらゆっくりと押す





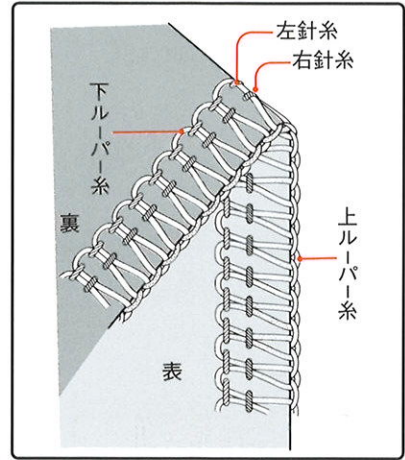
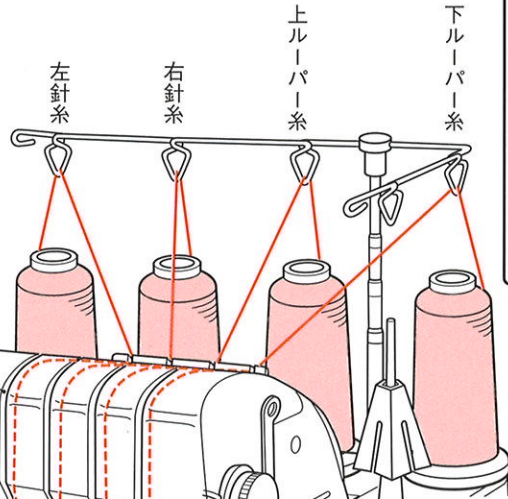
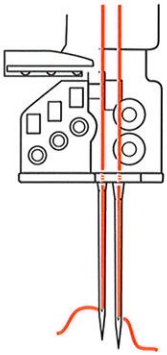
縫い方

(1) オーバーロック

2本針
4本糸ロック

かがり幅が最大7.5mmまで広がるため、主に縫い合わせや厚物の縁かがりに使われます。

1 O-1とO-2の2本針にする。



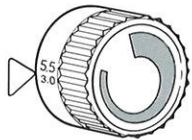
2 切換ダイヤルをAに合わせる。



切換ダイヤル

- A : 2本針4本糸ロック
- B : 1本針3本糸ロック
- C : 標準巻きロック
- D : 変形巻き本糸ロック

3 かがり幅ダイヤルを合わせる。
【上段の数字で合わせる】
(生地の種類や好みによって)



4 送り目ダイヤルを普通ロックの数字1~4に合わせる。(生地の種類や好みによって)



ワンポイント

縫い目がきれいにできない場合は溝の間にある2枚の糸調子皿から糸がはずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えています。ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。
押え上げレバーを上げ、この皿を開いてから、もう一度溝に糸を入れ直してください。
入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで！

【2本針4本糸オーバーロックの基準と目安】

使用針	送り目	かがり幅	切換ダイヤル	チェーン/カバー用テーブル	メス	押え金
O-1とO-2の2本	2.5~3.5	6.5~7.5	A	使用しない	使用	標準押え

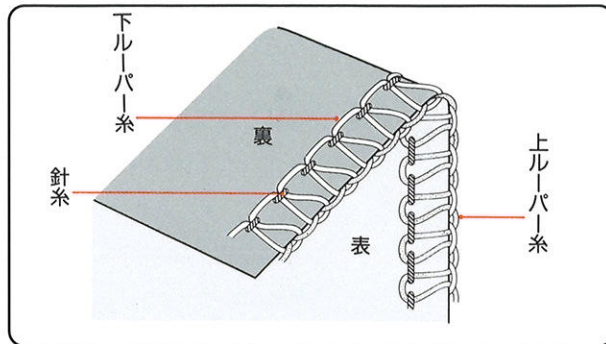
5 P7を参照にして縫い始める。

縫い方

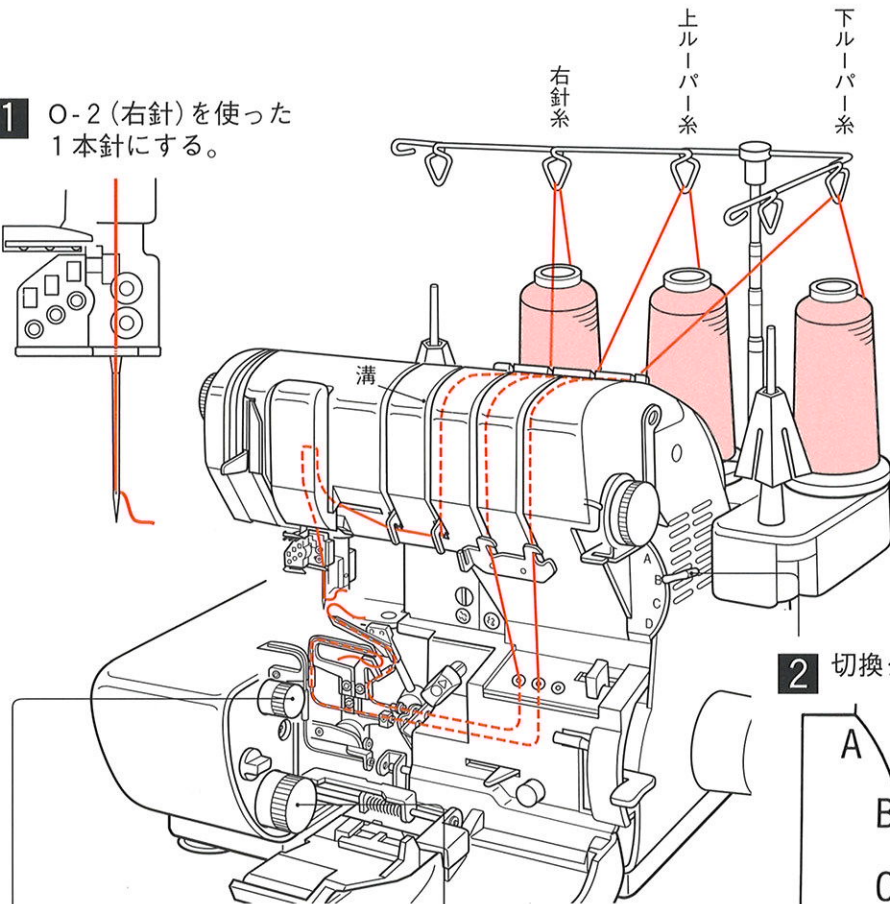
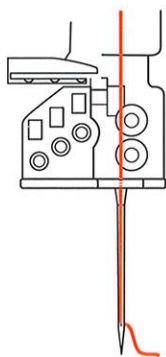
(1) オーバーロック

1本針
3本糸ロック

主に縁かがりに使われます。



1 O-2 (右針) を使った
1本針にする。



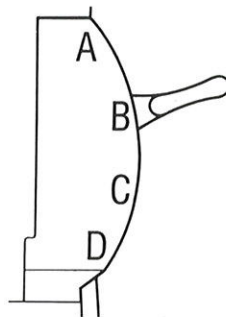
ワンポイント

縫い目がきれいにできない場合は溝の間にある2枚の糸調子皿から糸がはずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えています。ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。押え上げレバーを上げ、この皿を開いてから、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで！

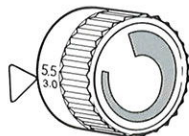
2 切換ダイヤルを **B** に合わせる。

切換ダイヤル

- A : 2本針4本糸ロック
- B : 1本針3本糸ロック
- C : 標準巻きロック
- D : 変形巻き本糸ロック



3 かがり幅ダイヤルを合わせる。
【下段の数字で合わせる】
(生地の種類や好みによって)



4 送り目ダイヤルを普通
ロックの数字1~4に
合わせる。(生地の種類
や好みによって)



【1本針3本糸オーバーロックの基準と目安】

使用針	送り目	かがり幅	切換ダイヤル	チェーン/カバー用テーブル	メス	押え金
O-2 (右針) の1本	2.5~3.5	3.0	B	使用しない	使用	標準押え

5 P 7 を参照にして縫い始める。

(1) オーバーロック

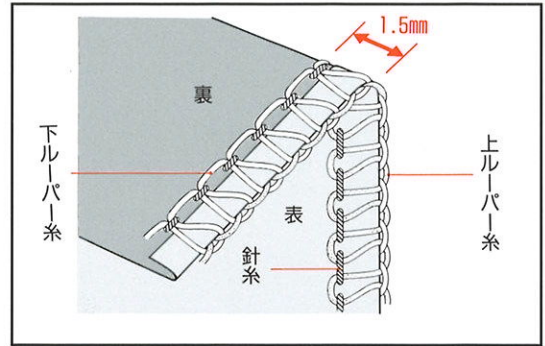
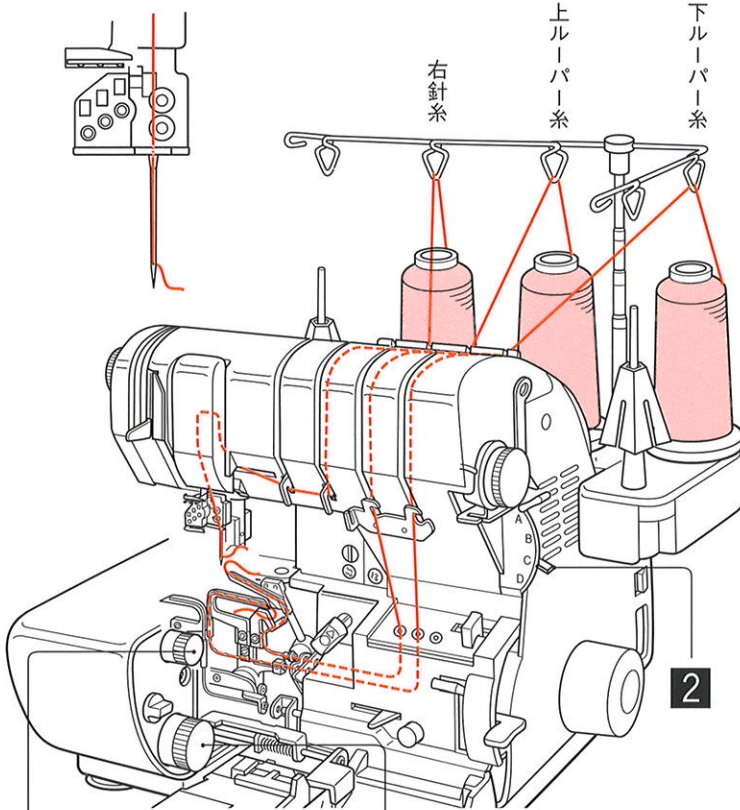
巻きロック

巻きロックは布端をひと折りしながら細く(約1.5~2mm)かがっていく縫い方で、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」があります。オーガンジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに最適です。

切換ダイヤル

- A : 2本針4本糸ロック
- B : 1本針3本糸ロック
- C : 標準巻きロック
- D : 変形巻き本糸ロック

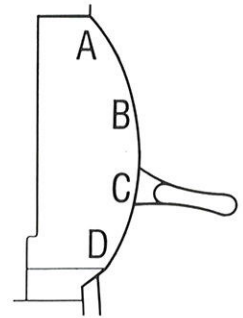
1 O-2 (右針) の1本針にする。



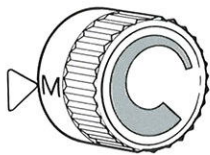
標準巻きロック

2 切換ダイヤルをCに合わせる。

縫い目は普通ロックと変わりませんが、布端をひと折りしながら細く(約1.5~2mm)かがります。



3 かがり幅ダイヤルをMに合わせる。(生地の種類や好みによって)



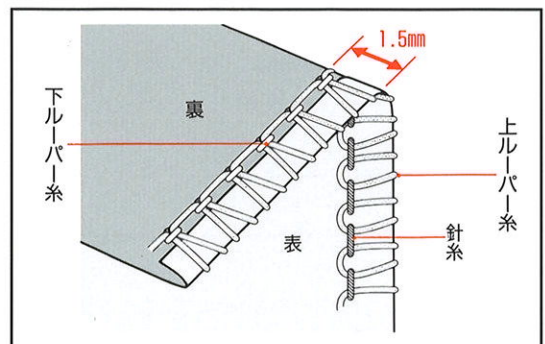
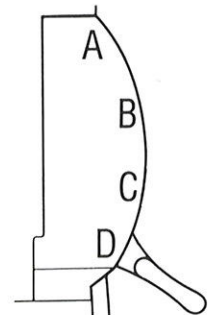
4 送り目ダイヤルを巻きロックの数字1~4に合わせる。(生地の種類や好みによって)



変形巻きロック

2 切換ダイヤルをDに合わせる。

下ルーバー糸が上ルーバー糸を裏側に引っ張り、布端を上ルーバー糸が覆うようにして細く(1.5~2mm)かがります。上ルーバー糸にウーリー糸を使うとよりきれいな仕上がりになります。



【巻きロックの基準と目安】

使用針	送り目	かがり幅	切換ダイヤル
O-2の1本	1~1.5 (巻)	M	CまたはD
チェーン/カバー用テーブル	メス	押え金	
使用しない	使用	標準押え	

5 P 7 を参照にして縫い始める。



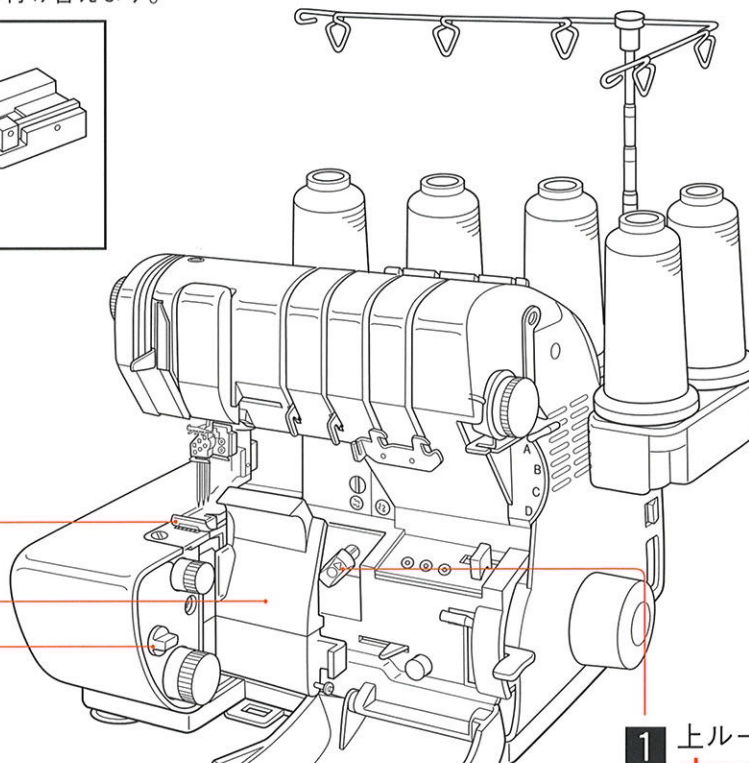
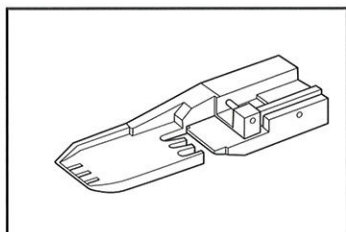
(2) チェーン(二重環縫い) / カバーステッチ

チェーンステッチ / カバーステッチを縫う前に

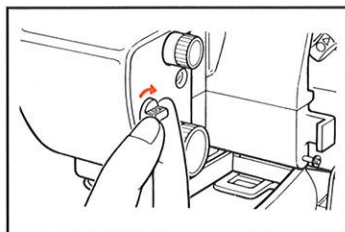
チェーンステッチまたはカバーステッチを縫う場合は必ず下記の作業を行ってください。

4 チェーン / カバー用押え金を付ける

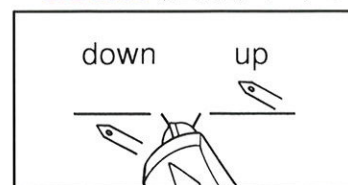
付いている標準押えを付属の「チェーン / カバー用押え金」に付け替えます。



2 メスを **LOCK** (固定) にする。



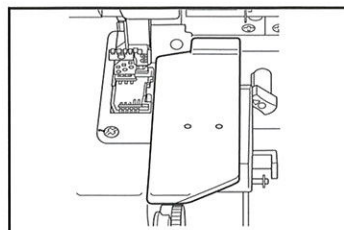
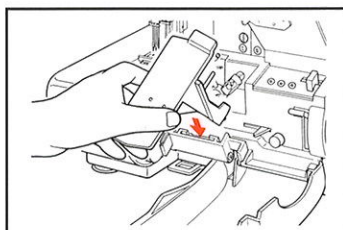
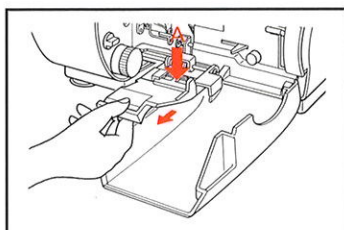
1 上ルーパー固定レバーを **down** (固定) にする



- 注 ① 針を最下点にしてから切り替えてください。
② 必ずはずみ車を手で手前に回して上ルーパーが固定されたことを確認ください。

3 チェーン / カバー用テーブルを付け替える

- 1) メスカバーのAの部分を手で押え、左手で静かに引き抜きます。
- 2) 付属のテーブルを差し込みます。

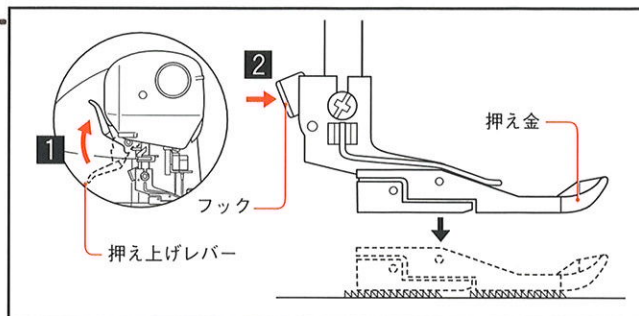


押え金の取り付け・取り外し方

チェーン/カバーステッチ用押え金やアタッチメントの各種押え金を使用する場合の、押え金の取り付け・取り外しは、下記の要領で行ってください。

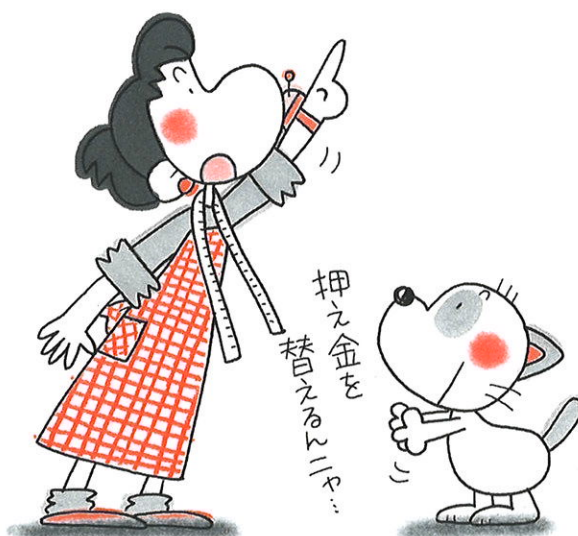
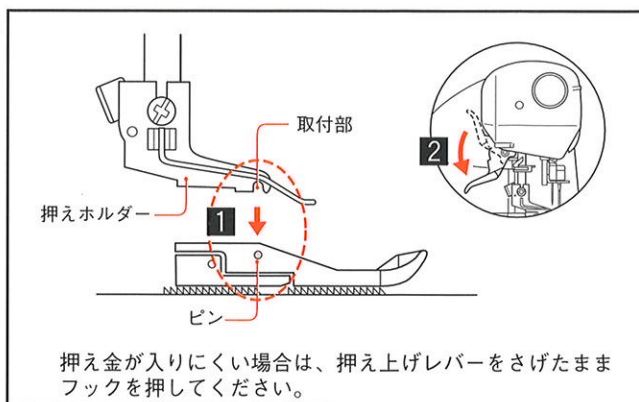
【取り外し方】

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 フックを押すと押え金はずれる。



【取り付け方】

- 1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
- 2 押え上げレバーを下げる。



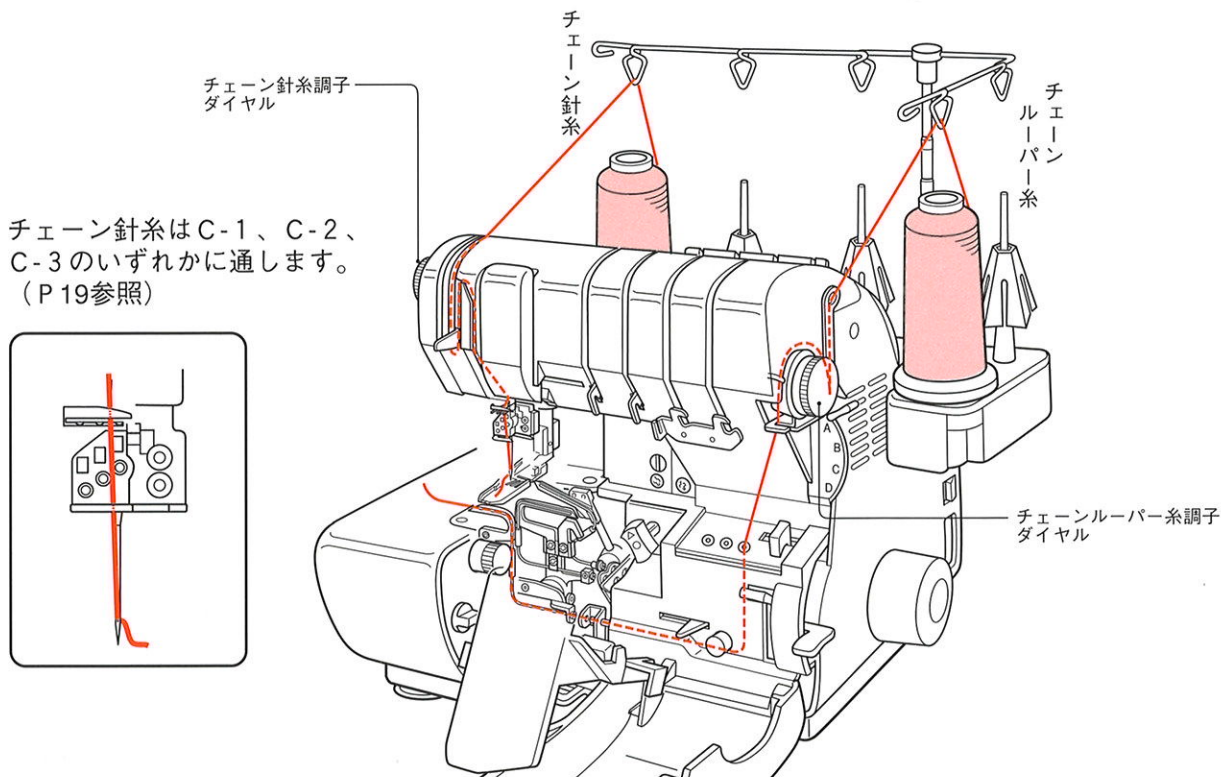
縫い方

(2) チェーン(二重環縫い)／カバーステッチ



チェーンステッチは二重環縫いとも言われている縫い方で、表が直線縫いになり、裏が輪状になっています。そのため普通ミシンの直線縫いとは異なり、丈夫なうえに伸縮性もあります。ニット地などの縫い合わせ、ゴム付け、バイアステープ作りに適した縫い目です。

チェーンルーバー糸とチェーン針糸の2本の糸を使って縫います。(P13・19参照)



- 1 上ルーバー切替レバーを“down”にする。(P23参照)
- 2 メスをロックする。(P23参照)
- 3 メスカバーをはずし、ソーイングテーブルをセットします。(P23参照)
- 4 押え金をチェーン／カバー用押え金にする。(P23参照)
- 5 下図のチャートに従い、送り目、チェーン針糸調子ダイヤル、チェーンルーバー糸調子ダイヤルを設定する。

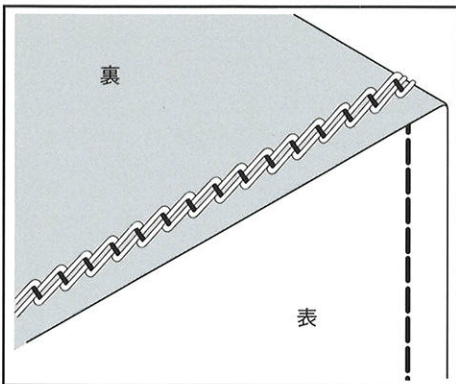
使用針／位置	送り目	チェーン針糸調子ダイヤル	チェーンルーバー糸調子ダイヤル	チェーン／カバー用テーブル	メス	押え金
C-1、C-2、C-3のいずれか1本	2.5～4	5	チェーンステッチ表示範囲	使用	LOCK (固定)	チェーン／カバー用

※糸調子ダイヤルは使用する糸や布地によって若干変わりますので調整してください。

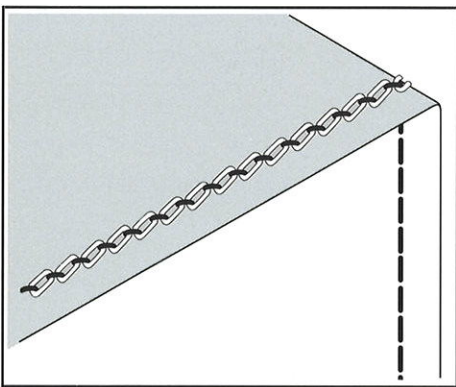
- 6 布を針落ち位置の所まで入れ、手ではずみ車を手前方向に2、3針回してから縫い始めます。(P7参照)

注意 チェーンステッチを縫う場合は必ず布を針落ち位置まで入れて縫い始めること。

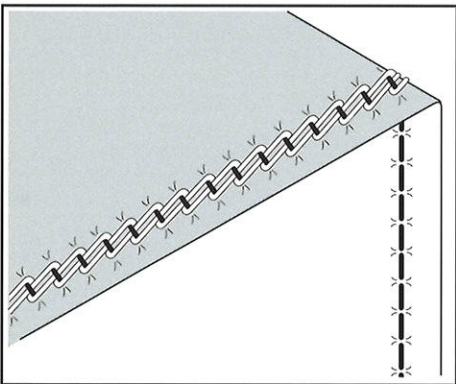
糸調子の合わせ方

きれいな縫い目

表の縫い目が直線で、裏の縫い目が輪状（ループ）になっている。

針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをチェーンステッチの範囲内で右（後ろ）方向に回す。

針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをチェーンステッチの範囲内で左（手前）方向に回す。



縫い方

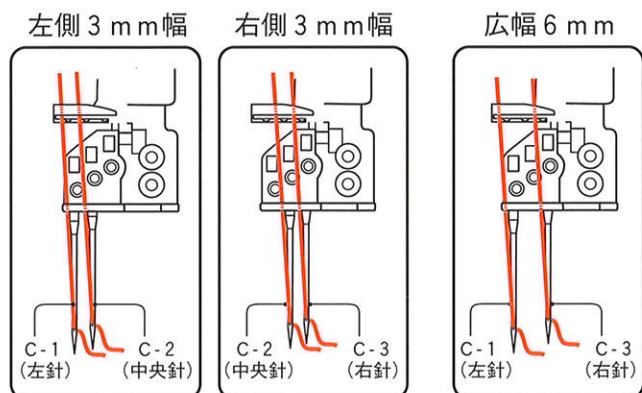
(2) チェーン(二重環縫い)／カバーステッチ



カバーステッチはチェーンステッチ2本で構成され、表は2本の直線、裏は2つのループが絡んだ縫い目になります。既製品のTシャツなどの袖口や裾にこの縫い目がよく使われています。カバーステッチは2本のチェーン針を使用しますが、使う針の組み合わせにより、右側3mm幅と左側3mm幅、広幅6mmの3種類の縫い方ができます。

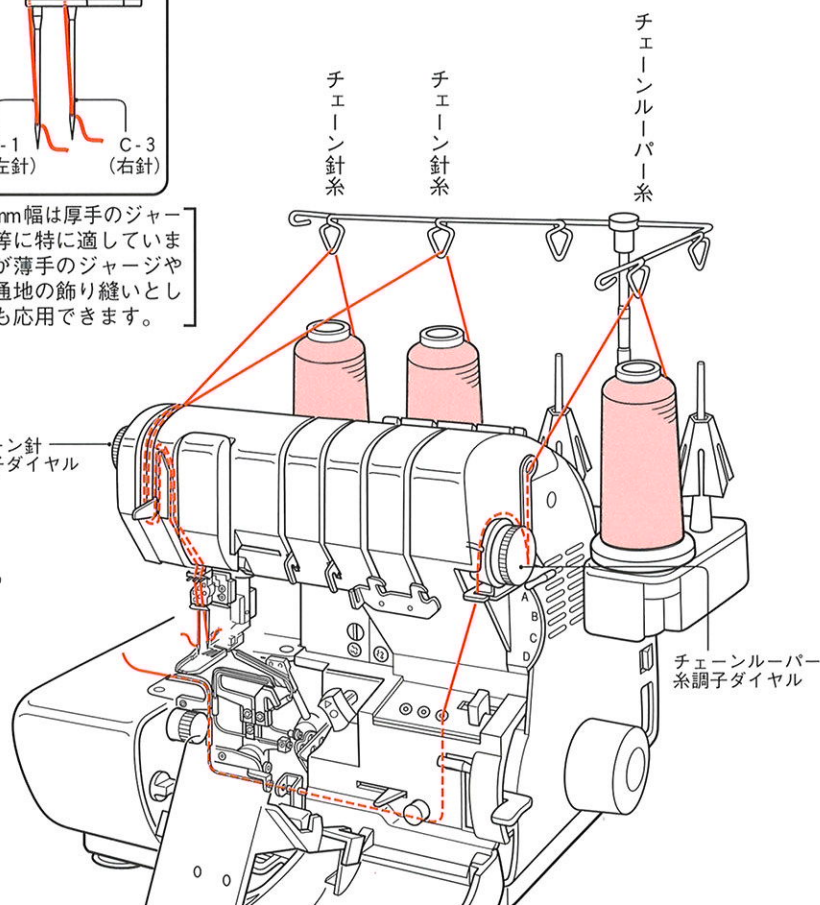
チェーンルーパー糸とチェーン針糸2本の合計3本の糸を使って縫います。(P13・19参照)

チェーン針糸は下記のいずれかで組み合わせます。(P19参照)



3mm幅は薄手のジャージ等に特に適していますが普通地の飾り縫いとしても応用できます。

6mm幅は厚手のジャージ等に特に適していますが薄手のジャージや普通地の飾り縫いとしても応用できます。



- 1 上ルーパー切替レバーを“down”にする。(P23参照)
- 2 メスをロックする。(P23参照)
- 3 メスカバーをはずし、ソーイングテーブルをセットする。(P23参照)
- 4 押え金をチェーン／カバー用押え金にする。(P23参照)
- 5 下図のチャートに従い、送り目、チェーン針糸調子ダイヤル、チェーンルーパー糸調子ダイヤルを設定する。

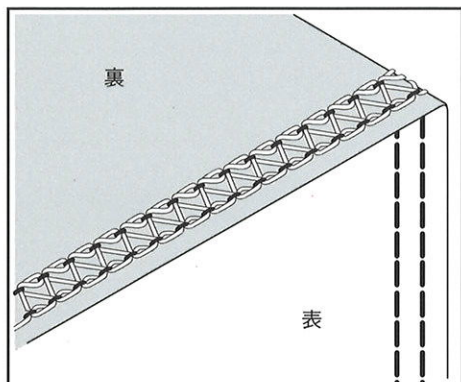
使用針／位置	送り目	チェーン針糸調子ダイヤル	チェーンルーパー糸調子ダイヤル	チェーン／カバー用テーブル	メス	押え金
C-1とC-2、C-2とC-3、C-1とC-3のいずれか2本	2.5~4	5	カバーステッチ位置	使用	LOCK (固定)	チェーン／カバー用

※糸調子ダイヤルは使用する糸や布地によって若干変わりますので調整してください。

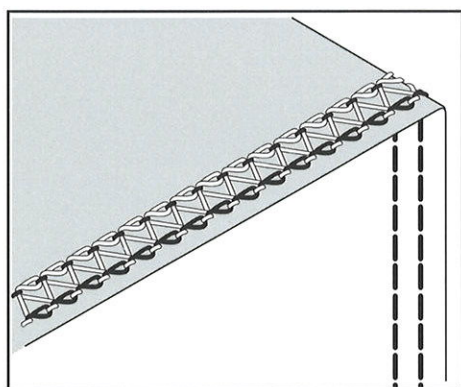
- 6 捨て布を針落ち位置の所まで入れ、手ではずみ車を手前方向に2、3針回してから縫い始めます。(p7参照)

注意 カバーステッチを縫う場合は必ず布を針落ち位置まで入れて縫い始めること。

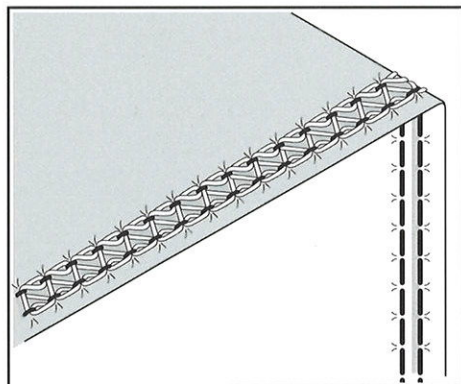
糸調子の合わせ方

きれいな縫い目

表の縫い目が2本の直線で、裏の縫い目は輪状（ループ）が絡み合いジグザグになっている。

針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で右(後ろ)方向に回す。

針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で左(手前)方向に回す。



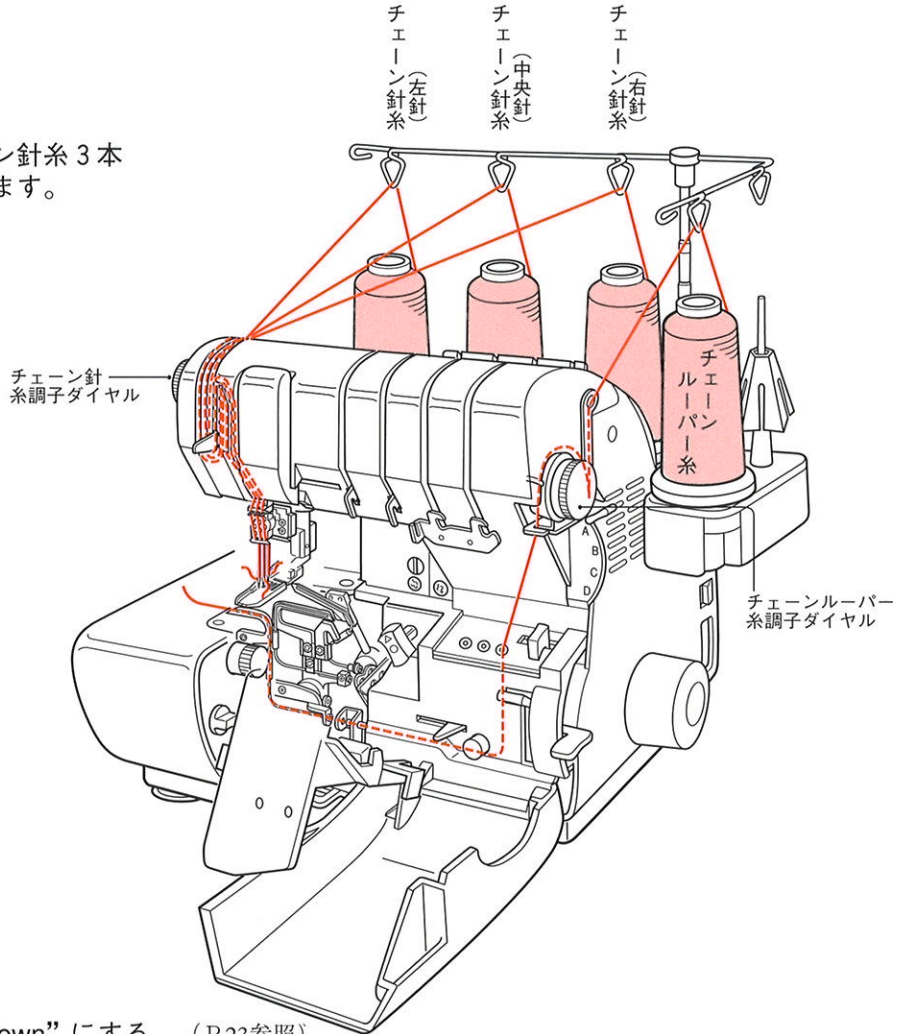
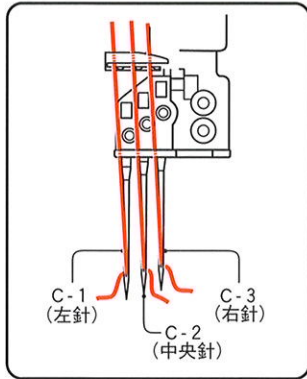
縫い方

(2) チェーン(二重環縫い)／カバーステッチ



トリプルカバーステッチは表が3本の直線縫いになり、飾り縫い、裾始末、ゴム入れ等に適しています。

チェーンルーパー糸とチェーン針糸3本の合計4本の糸を使って縫います。
(P13・19参照)



- 1 上ルーパー切替レバーを“down”にする。(P23参照)
- 2 メスをロックする。(P23参照)
- 3 メスカバーをはずし、ソーイングテーブルをセットします。(P23参照)
- 4 押え金をチェーン／カバー用押え金にする。(P23参照)
- 5 下図のチャートに従い、送り目、チェーン針糸調子ダイヤル、チェーンルーパー糸調子ダイヤルを設定する。

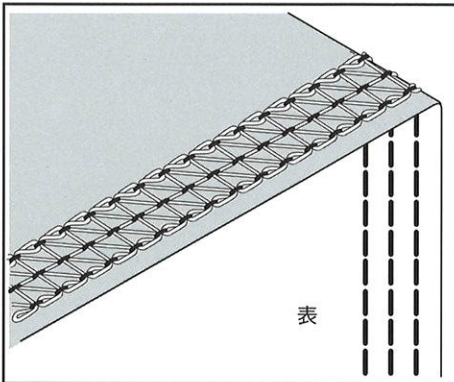
使用針／位置	送り目	チェーン針糸調子ダイヤル	チェーンルーパー糸調子ダイヤル	チェーン／カバー用テーブル	メス	押え金
C-1、C-2、C-3の3本	2.5～4	5	カバーステッチ位置	使用	LOCK (固定)	チェーン／カバー用

※糸調子ダイヤルは使用する糸や布地によって若干変わりますので調整してください。

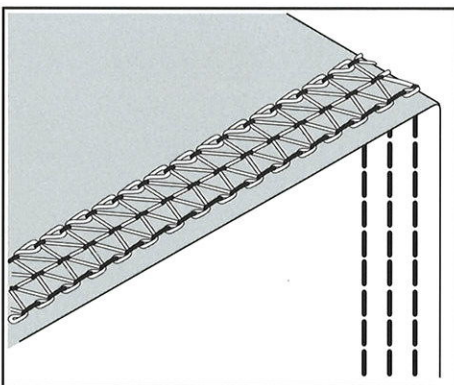
- 6 布を針落ち位置の所まで入れ、手ではずみ車を手前方向に2、3針回してから縫い始めます。(p7参照)

注意 カバーステッチを縫う場合は必ず布を針落ち位置まで入れて縫い始めること。

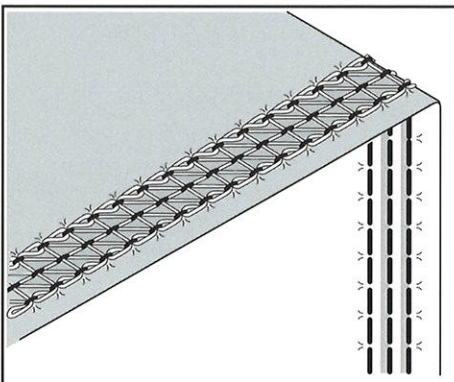
糸調子の合わせ方

きれいな縫い目

表の縫い目が3本の直線で、裏の縫い目は輪状（ループ）がジグザグ状になっている。

針糸がゆるい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より大きな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で右(後ろ)方向に回す。

針糸がきつい

チェーン針糸調子ダイヤルを回し、より小さな数字にする。またはチェーンルーパー糸調子ダイヤルをカバーステッチの範囲内で左(手前)方向に回す。

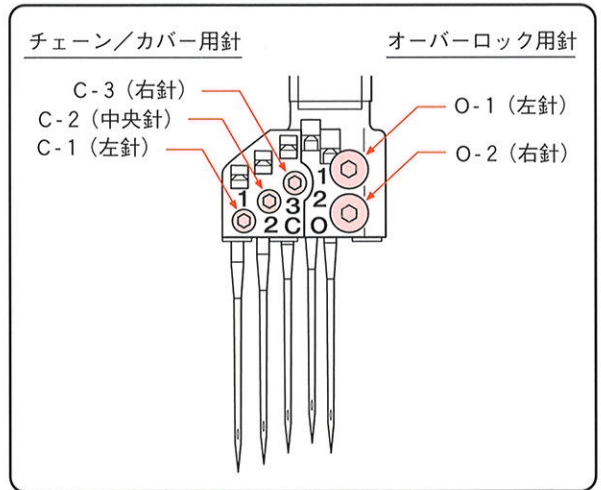
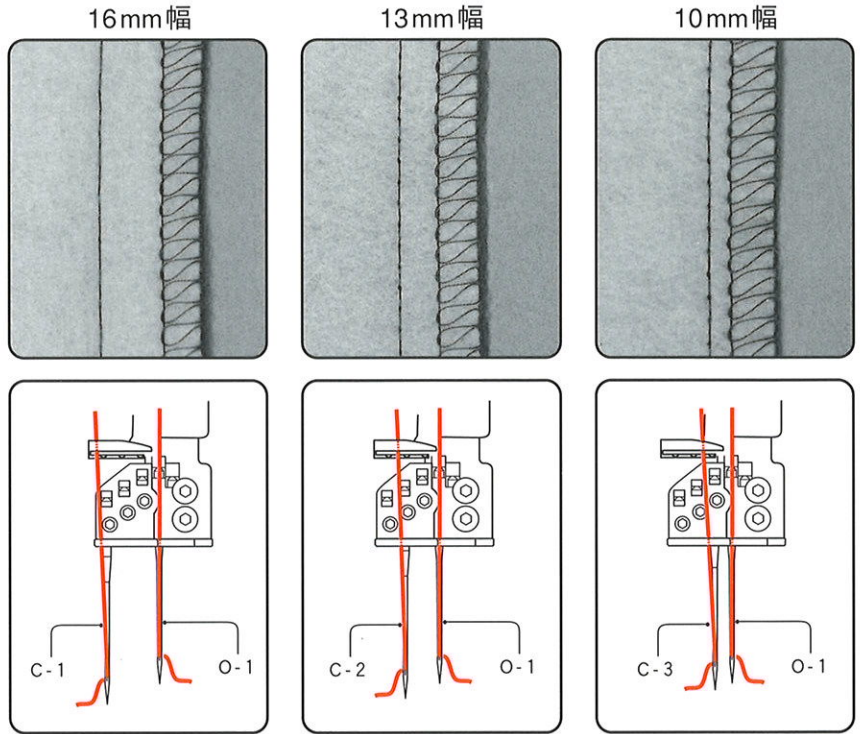


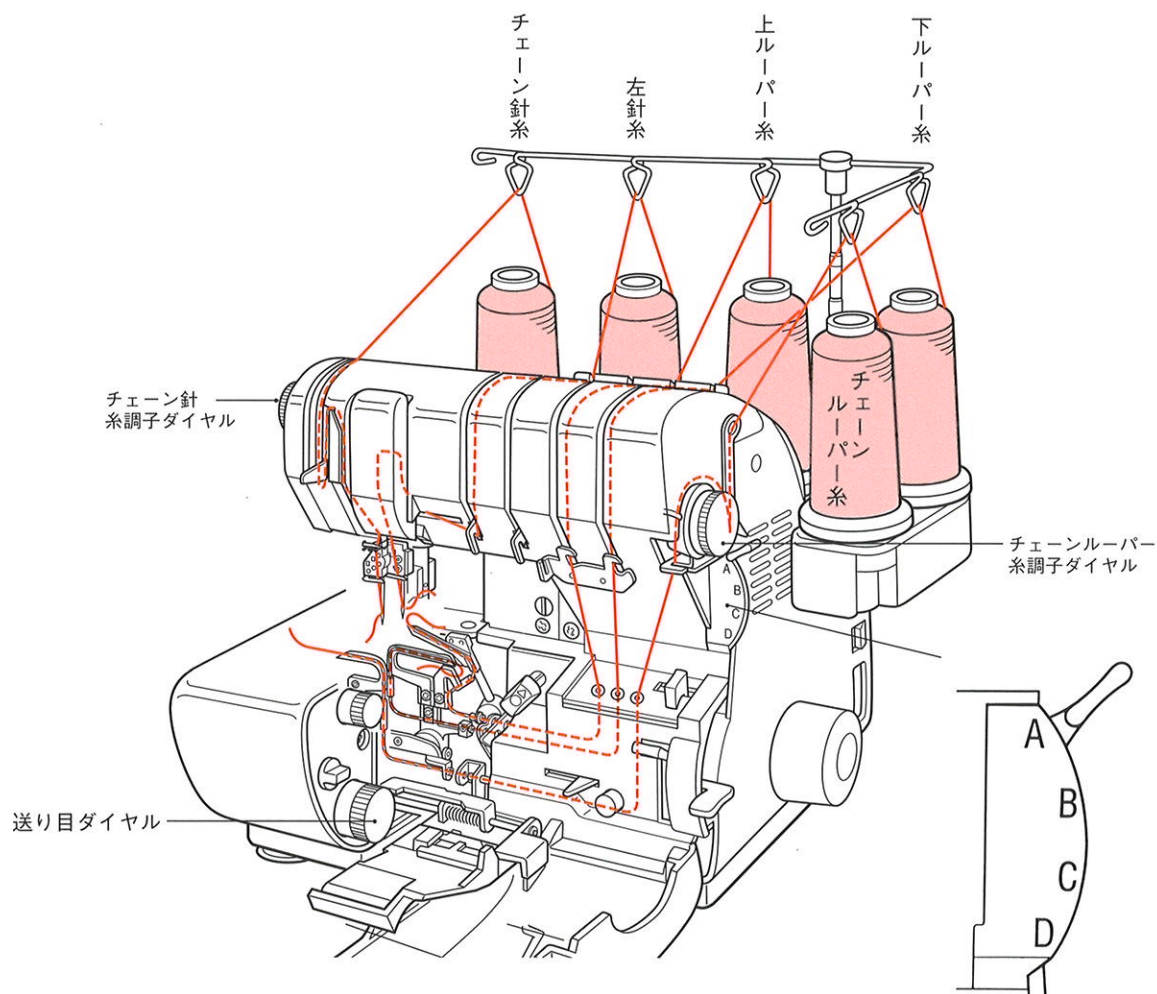
(3) 5本糸インターロック

5本糸
インターロック

5本糸インターロックはチェーンルーパーによる縫い合わせと1本針3本糸オーバーロックによる縁かがりが同時にでき、あらゆるタイプの布の縫い合わせに最適な縫い目です。既製品の多くにこの縫い目が使われています。

どのチェーン針糸を使用するかによって縫い代が変わってきます。





- 押え金は標準押えを使用する。
- メスは使用できるようにする。ロック（固定）しない。
- メスカバーをつける。ソーイングテーブルは使用しない。

1 縫い目切替レバーを **A** に合わせる。

2 下図のチャートに従い、かがり幅、送り目、チェーン針系調子ダイヤル、チェーンルーバー糸調子ダイヤルを設定する。

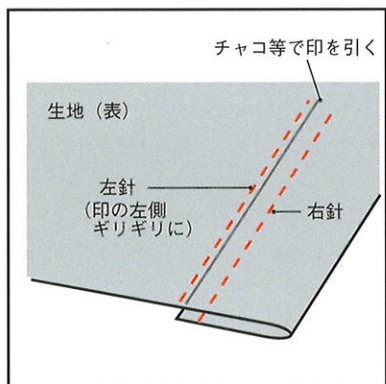
使用針/位置	かがり幅	送り目	チェーン針系調子ダイヤル	チェーンルーバー糸調子ダイヤル	チェーン/カバー用テーブル	メス	押え金
O-1とC-1、O-1とC-2、O-1とC-3のいずれかの組み合わせ	7.5	2.5~3.5	5	チェーンステッチ表示範囲	使用しない	使用	標準押え

※糸調子ダイヤルは使用する糸や布地によって若干変わりますので調整してください。

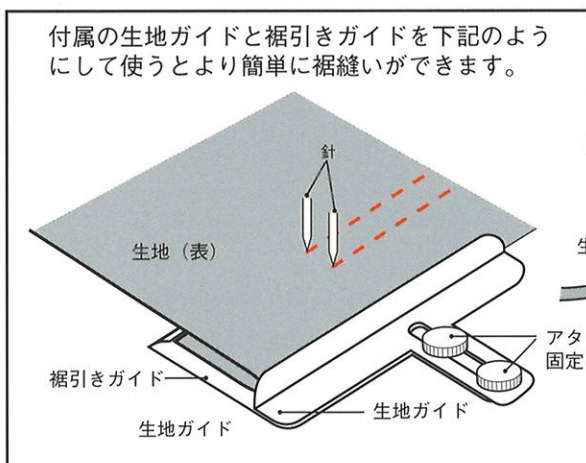
3 P 7 を参照にして縫い始める。

(4) 実用縫い

カバーステッチの裾縫い

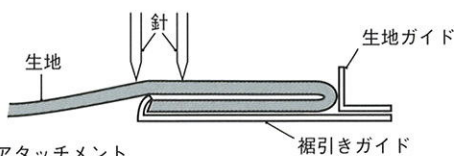


- 1 まず最初に何cm折り上げるかを定める。
- 2 決めた分の布地を折り上げ、アイロンをかけておく。
- 3 折り上げた布端が布の表からわかるように、定規で測って布の表にチャコ等で印を引いておく。
- 4 布の表を上にして押え金の下に置き、左針の右側ギリギリに、引いた印が来るようにする。
- 5 印からはずれないように縫っていく。



付属の生地ガイドと裾引きガイドを下記のようにして使うとより簡単に裾縫いができます。

- 6 布の端まで縫い終わったら、押え金と針を上げ、注意しながら布を引き出し、糸を切る。
- 7 表に出ている糸は裏側へ引っ張り出し、すべての糸をまとめて結ぶ。

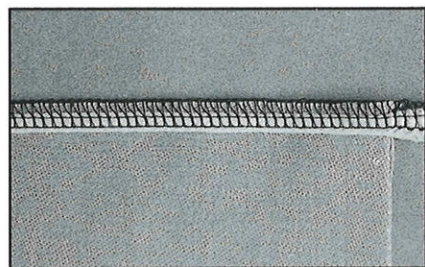


※但し、カーブを縫うときなどは裾引きガイドを使用せず、生地ガイドのみの方が縫いやすいこともあります。



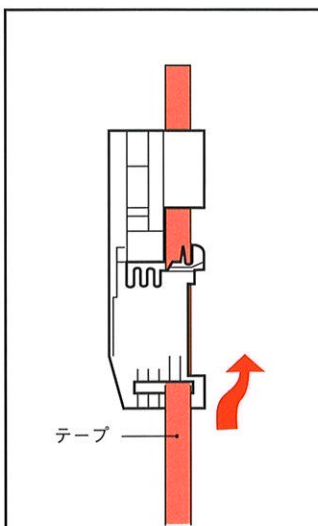
テープ入れ

「標準押え」は、右のように縁かがり（オーバーロック）と同時に、伸び止めテープ（ウーリースピンテープ）や各種テープを入れることができます。テープの入れ方は右記の通り。



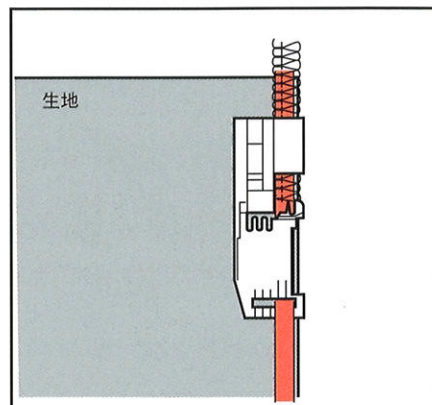
肩部分の合わせ縫いに最適

- 1 押え金を取り外して、テープを通しておく。



- 2 針を一番上に上げ、P24の押え金の【取り付け方】を参照に押え金を取り付ける。

- 3 空縫いしてから、生地を入れて縫い始める。



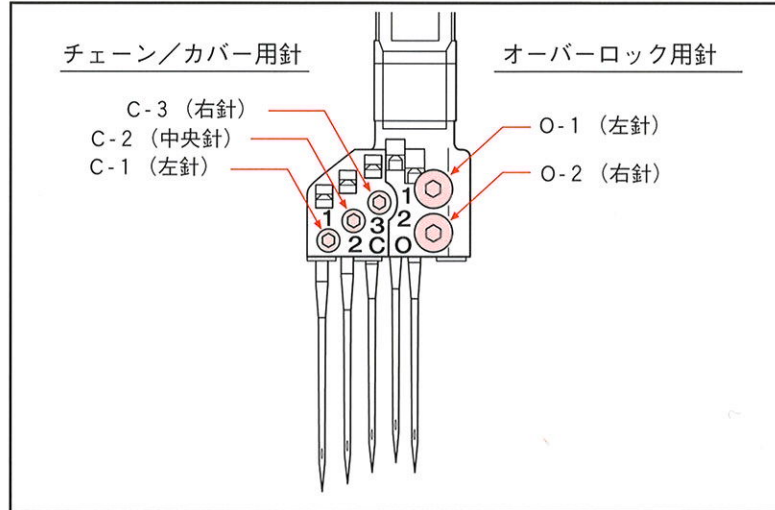
針の交換

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

このミシンの針は必ず **E L X 7 0 5 # 1 4 / 9 0** または **# 1 2 / 8 0** をご使用ください。
この針以外は使用できません。

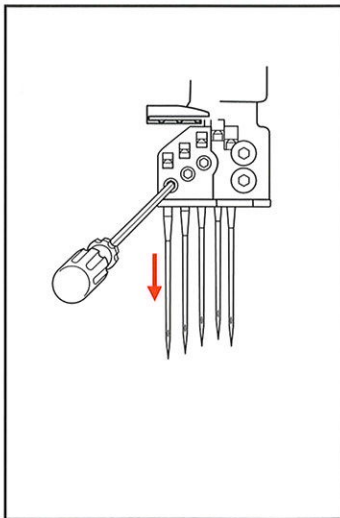
注意 ケガをする恐れがあります。

針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

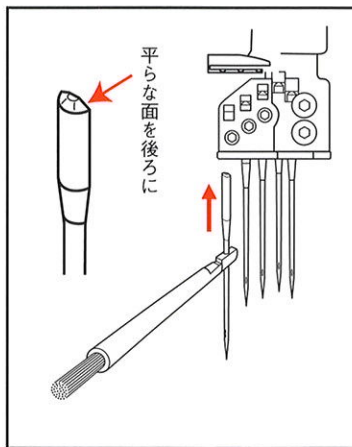


1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げる。

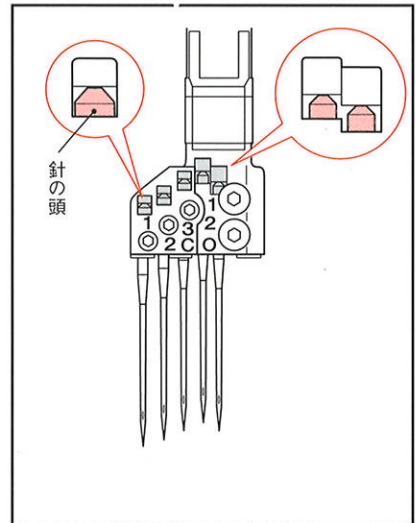
2 付属の六角ドライバーで針止めネジをゆるめて、針をはずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。

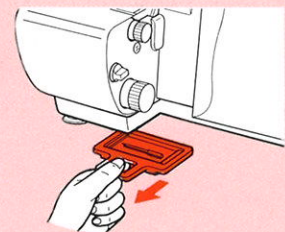


4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。



ワンポイント

針をメスカバーの奥に落とした場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



ルーパースレッダーの使い方

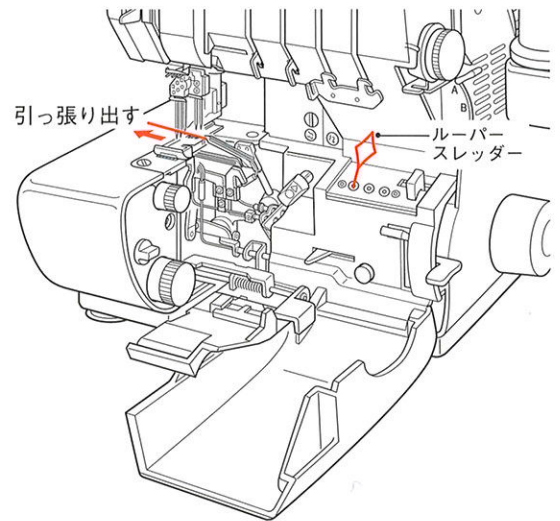
“エアスルーシステム”のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として、使用すると便利です。

① 掃除具として

「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』を差し込み、ルーパースの先端から出てきたら引っ張り出します。パイプにたまった糸クズが取れます。

② 糸通し具として

『ルーパースレッダー』の輪に、通したい糸を数cm入れ、①と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパースの先端から引っ張り出します。



メスの交換

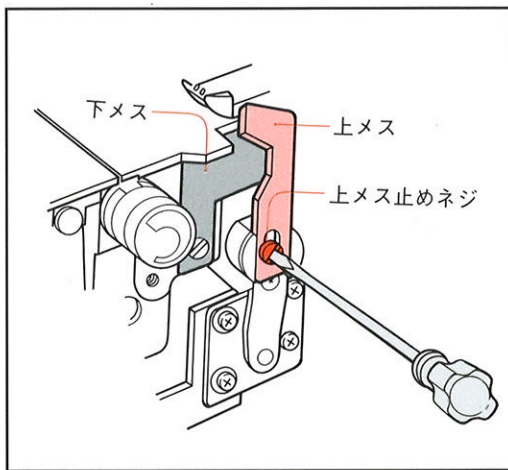
メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

1 フロントカバーとメスカバーを開く。

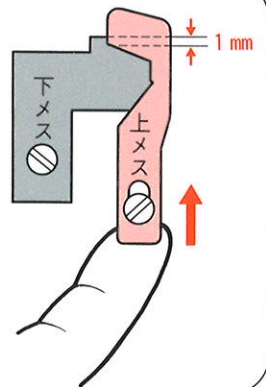
2 はずみ車を回して、上メスを最下点にする。

3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずす。

4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。



上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げた位置がだいたい1mm程度沈み込んだ位置になります。



掃除

このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため切りクズがたまりやすくなります。掃除機を使って埃を吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。



ケガをする恐れがあります。

ルーパースレッダーを使用するときやメスの交換するとき、また掃除をするときは必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

10

修理を依頼される前に

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状 況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない!	<input type="checkbox"/> 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。…………… 6 <input type="checkbox"/> 照明ライトスイッチが [I] になっていますか。…………… 6 <input type="checkbox"/> はずみ車の「固定の解除」がされていますか。…………… 12	
まったく縫えない!	<input type="checkbox"/> 押え金下がっていますか。…………… 12	
普通ロックがうまく縫えない!	<input type="checkbox"/> 4本糸ロックで縫う場合は切換ダイヤルが [A] になっていますか。 20 <input type="checkbox"/> 3本糸ロックで縫う場合は切換ダイヤルが [B] になっていますか。 21 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [普通ロック] 側の数字になっていますか。 …… 20・21 <input type="checkbox"/> 糸調子皿から糸がはずれていませんか。 …………… 21 <input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。 …………… 11	
巻きロックがうまく縫えない!	<input type="checkbox"/> 切換ダイヤルが [C] または [D] になっていますか。…………… 22 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [巻きロック] 側の数字になっていますか。 …… 22 <input type="checkbox"/> かがり幅ダイヤルが [M] になっていますか。…………… 22 <input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。…………… 11	
チェーン／カバーステッチがうまく縫えない!	<input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。 …………… 13・19 <input type="checkbox"/> 糸調子がバランス良くとれていますか。…………… 26・28・30 <input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。…………… 11 <input type="checkbox"/> 布を針の下へ置いてから縫い始めていますか。…………… 7	
目とび、糸切れがする!	<input type="checkbox"/> 針は指定の [シュメツ E L X 7 0 5 #12 または #14] がついていますか。 …… 34 <input type="checkbox"/> 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。…………… 34 <input type="checkbox"/> 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。…………… 34 <input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。…………… 12～19 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。…………… 13～19 <input type="checkbox"/> 古い糸や粗悪な糸を使用していないですか。 …………… 6	
メスが布地を切らない!	<input type="checkbox"/> メスロックダイヤルが [LOCK (固定)] になっていませんか。 …… 10 <input type="checkbox"/> 上メスが磨耗していませんか。…………… 35	
エアレバーを押しても糸が通らない!	<input type="checkbox"/> 「はずみ車の固定」がされていますか。…………… 12 <input type="checkbox"/> ルーパー糸通し切換スイッチの位置は正しいですか。…………… 13～15 <input type="checkbox"/> 糸通し穴に糸が 1～2cm 挿入されていますか。…………… 13～15 <input type="checkbox"/> 糸通し穴の手前で糸を 20cm ほどたるませていますか。…………… 13～15 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。…………… 13～15 <input type="checkbox"/> パイプの中にゴミがたまっていないですか。…………… 35	

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

仕 様

- 縫い型式 : 2本針4本糸／1本針3本糸オーバーロック
1本針2本糸チェーンステッチ
3本針4本糸／2本針3本糸カバーステッチ
2本針5本糸インターロック
- オーバーロックのかがり幅 : 2本針4本糸ロック 5.5～7.5mm
1本針3本糸ロック 3.0～7.5mm
巻きロック 1.5mm (標準)
- カバーステッチ幅 : 3mmと6mm
- 縫い目(送り目) : 1～4mm
- あこ〜でおん比率 : 0.6～2.0
(差動比=伸ばし・縮みの比率)
- メス上下量 : 6.5mm
- 押え上がり量 : 4.5mm
- 送り歯高さ : 0.7mm (標準)
- 縫い速度 : 毎分1,500針(常用)
- 使用針 : EL×705 (#12/80, #14/90)
- 使用糸本数 : 5本、4本、3本、2本
- 照明ライト : 100V15W
- ミシンの大きさ : タテ280mm ヨコ340mm タカサ290mm
- ミシンの重さ : 8.5kg (モーター付完成品)

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。







baby lock

株式会社 ジューキ

本社 / 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL 03(3265)2851(代表)

札幌 011 (737) 6821 仙台 022 (239) 3705 新潟 0250 (43) 4451
 東京 03 (3265) 8741 名古屋 052 (917) 3671 大阪 06 (6768) 3651
 倉敷 086 (473) 0355 広島 082 (227) 5781 福岡 0942 (44) 7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ _____
 お買い上げ日、販売店名を記入させていただきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL